

# 高松市高等学校等入学準備金貸付条例 施行規則の廃止について

教育局学校教育課

1

## 概 要

議案第7号

### 【実施の目的】

高松市高等学校等入学準備金貸付制度の廃止に伴い、同施行規則を廃止するもの。

### （経緯）

令和8年度末をもって高松市高等学校等入学準備金貸付制度を廃止するため、同条例の廃止について令和7年3月議会に諮り、議決で承認を得たのに伴い、同規則を廃止するもの。

なお、この規則の施行の際、現に貸付けの決定を受けた入学準備金の返還を完了していない者については、この規則による廃止前の高松市高等学校等入学準備金貸付条例施行規則第6条から第10条までの規定は、この規則の施行後も、なお、その効力を有するものとする。

### 【施行日】

令和9年4月1日

2

# 令和7年第2回高松市議会定例会追加 提出議案に対する意見の申出について

教育局総務課

3

報告事項 1

## 令和7年第2回高松市議会定例会追加提出議案に対する 意見の申出について

令和7年第2回高松市議会定例会追加提出議案を提出するに当たり、  
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、  
「意見は特にありません」との回答をしたもの。

### 議題

1. 令和6年度高松市一般会計補正予算（第9号）

4

# 令和 7 年第 2 回高松市議会定例会 答弁要旨について

教育局総務課

5

## 1 日程等

報告事項 2

日程	質問者		質問項目数
3月6日	代表質問	辻 正彦 議員（自由民主党清新会）	2（うち、参考1）
		造田 正彦 議員（市民フォーラム21）	5
3月7日	代表質問	大山 高子 議員（公明党議員会）	5
		中村 順一 議員（自由民主党議員会）	1
	質疑	香川 洋二 議員（自由民主党清新会）	2
3月10日	質疑	岡田 まなみ 議員（日本共産党議員団）	2
		太田 安由美 議員（無所属）	6
		橋本 浩之 議員（自由民主党清新会）	3（うち、参考2）
		春田 敬司 議員（公明党議員会）	3

6

# 1 日程等

報告事項 2

日程	質問者		質問項目数
3月11日	質疑	藤沢 やよい 議員（日本共産党議員団）	1
		北谷 悌邦 議員（自由民主党清新会）	1
		斉藤 修 議員（自由民主党清新会）	1
		米田 優 議員（市民フォーラム21）	2
3月12日	質疑	山西 朋子 議員（市民フォーラム21）	2
		笹原 勝彦 議員（自由民主党清新会）	2
		大浦 真由美 議員（自由民主党清新会）	1
		松熊 秀樹 議員（自由民主党清新会）	1
		横井 裕二 議員（自由民主党清新会）	2
		前川 幸輝 議員（市民フォーラム21）	1（うち、参考1）
3月13日	質疑	山下 誠 議員（自由民主党清新会）	1（うち、参考1）

# 高松市高等学校等入学準備金貸付者及び 高松市奨学生の選考結果について

教育局学校教育課

8

報告事項 3

## 1 高松市高等学校等入学準備金貸付について

学校長の推薦を受けている生徒の保護者で貸付を希望する者のうち、世帯1人当たりの月額所得が低い者から予算の範囲内で選考する。

### (1) 貸付額等

- 国・公立学校：10万円以内
- 私立学校：25万円以内

※返済は、6か月据え置いた後、国・公立学校は25か月以内の、私立学校は50か月以内の割賦弁済とする。

### (2) R6年度申請状況及び選考結果

申請者：10名（国・公立志望2名、私立志望8名）

- 内定者：10名（国・公立志望2名、私立志望8名）

～R5年度データ～

- 申請者：9名（国・公立志望3名、私立志望6名）
- 内定者：9名（国・公立志望3名、私立志望6名）

※内定後、1名辞退連絡があったため、R5実際に貸し付けたのは8名  
（国・公立志望3名、私立志望5名）

9

## 2 高松市奨学生について

### (1) 支給額

1人当たり：月額**9,000**円

### (2) R7年度申請者及び選考結果

- 申請者：**159**名（中学3年生：**75**名・高等学校等在学学生：**84**名）
- 内定者：**121**名（中学3年生：**56**名・高等学校等在学学生：**65**名）

～R6年度データ～

- 申請者：**115**名（中学3年生：**57**名・高等学校等在学学生：**58**名）
- 内定者：**88**名（中学3年生：**43**名・高等学校等在学学生：**45**名）

### (3) R6年度臨時募集

- 実施なし

10

### (4) 選考基準【評定平均値3.5以上】

高松市奨学金予算：**24,300,000**円

(単位：人、円)

支給年度	4～9月		10～3月		年間	
	人数	支給額	人数 (うち臨時募集)	支給額	総支給額	残額
R6	219	11,817,000	194 (0)	10,422,000	22,239,000	2,061,000
R5	200	10,800,000	234 (51)	12,537,000	23,337,000	963,000
R4	190	10,260,000	238 (62)	12,852,000	23,112,000	1,188,000

- 平成28年度までは、学業成績の平均水準3.1以上の基準を採用していたが、28年度高松市外部評価での意見を受け、教育委員会で検討し、政策会議に諮った結果、29年度奨学生選考より、学業成績が同学年生徒の平均水準3.5以上である者を選出することとする。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、R3年度（7月実施）より市内在住高校生を対象とした臨時募集を行っていたが、令和6年度については、新規申請者が増加しており、予算の範囲内で行うことが難しいため、実施していない。
- 毎年学業成績（3月）や家庭の所得状況（6月）を調査することによって、基準を下回った者は、認定を取り消すこととする。

11

## 報告事項 4

# 「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果の考察と今後の対策について

教育局保健体育課

12

## 1 調査の概要

報告事項 4

### (1) 概要

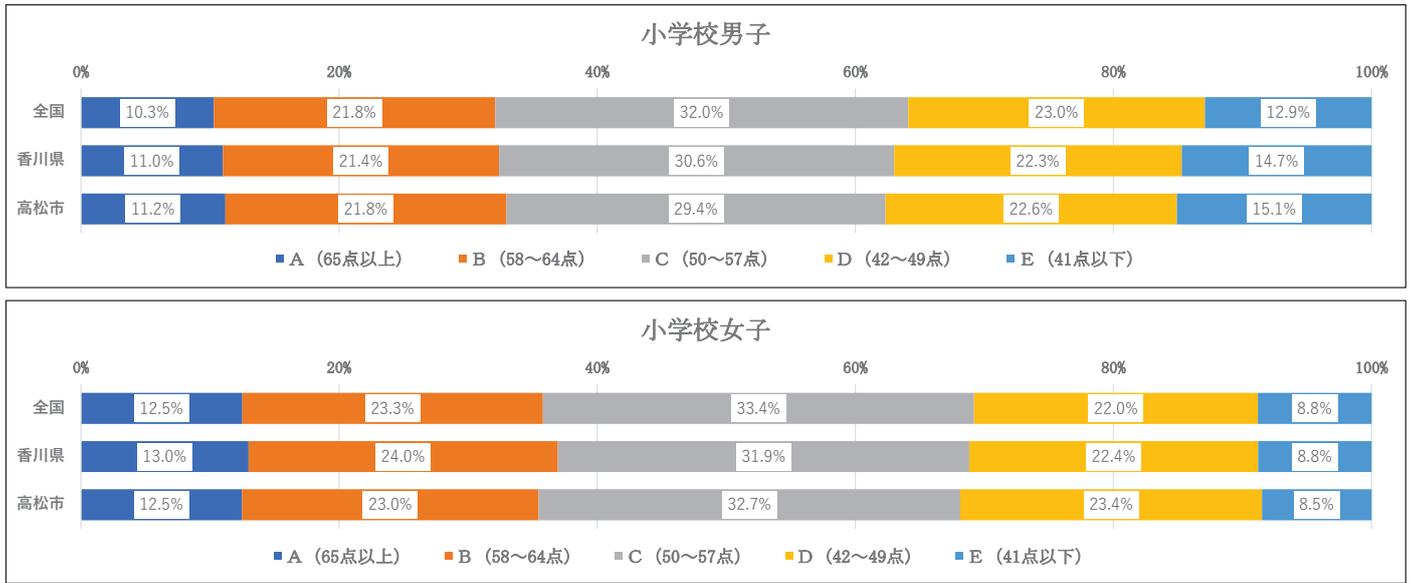
項目	
1 調査の目的	全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、 <b>子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立</b> する。また、 <b>各学校における体育・健康に関する指導の改善に役立てる。</b>
2 調査対象者 (5/1現在)	高松市立 <b>小学校第5学年・中学校第2学年</b> について、原則として <b>全児童生徒を対象とする全数調査</b> 小学校第5学年 (対象校数49校 児童数 3,684名 男子 1,862名 女子 1,822名) 中学校第2学年 (対象校数24校 生徒数 3,417名 男子 1,782名 女子 1,635名)
3 調査内容 ※オンライン 方式で実施	(1) 児童生徒に対する調査 ① <b>実技に関する調査</b> (8種目) 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、小：ソフトボール投げ、中：ハンドボール投げ ② <b>質問紙調査 (運動習慣、生活習慣等に関する調査)</b> (2) 学校に対する調査 ①質問紙調査 (子どもの体力向上や運動習慣の確立に向けた学校の取組等に関する調査)
4 実施期間	令和6年4月～7月

13

## 2 調査結果について

報告事項 4

### (1) 実技に関する調査【小学校】「総合評価」



14

## 2 調査結果について

報告事項 4

### (1) 実技に関する調査【小学校】「各種目別結果」

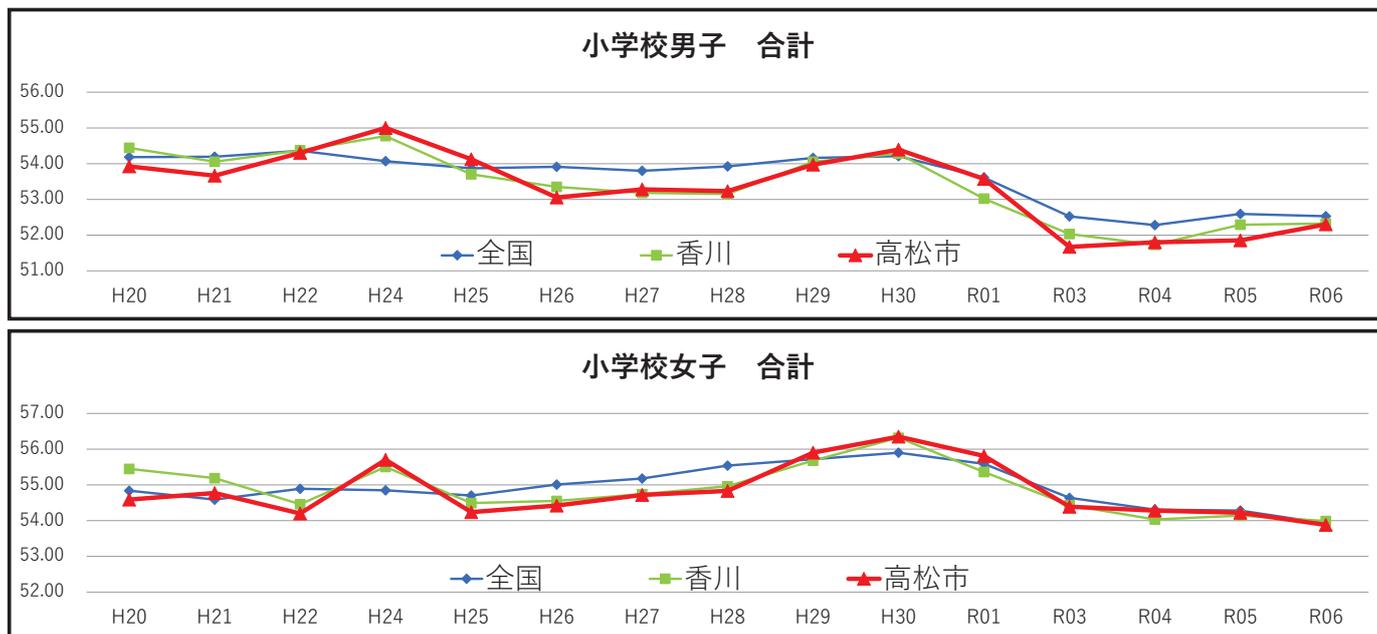
小学校男子								小学校女子							
	年度	高松市	全国	香川	全国比	県比	昨年比		年度	高松市	全国	香川	全国比	県比	昨年比
握力(kg)	R06	15.63	16.01	15.43				握力(kg)	R06	15.52	15.77	15.36			
	R05	15.37	16.13	15.44					R05	15.46	16.01	15.37			
上体起こし(回)	R06	19.47	19.19	19.34				上体起こし(回)	R06	18.28	18.16	18.16			
	R05	19.09	19.00	19.02					R05	18.36	18.05	17.91			
長座体前屈 (cm)	R06	32.84	33.79	32.65				長座体前屈 (cm)	R06	37.53	38.19	37.43			
	R05	33.31	33.98	33.15					R05	38.18	38.45	37.78			
反復横とび (点)	R06	40.75	40.66	41.23				反復横とび (点)	R06	38.40	38.70	39.00			
	R05	40.48	40.60	41.17					R05	38.80	38.73	39.18			
20mシャトルラン (回)	R06	46.39	46.90	47.35				20mシャトルラン (回)	R06	36.39	36.59	37.82			
	R05	45.20	46.92	46.88					R05	36.41	36.80	37.22			
50m走 (秒)	R06	9.45	9.50	9.45				50m走 (秒)	R06	9.72	9.77	9.73			
	R05	9.51	9.48	9.46					R05	9.65	9.71	9.66			
立ち幅とび (cm)	R06	151.93	150.42	150.70				立ち幅とび (cm)	R06	144.32	143.13	143.11			
	R05	151.23	151.13	151.37					R05	144.96	144.29	143.82			
ソフトボール投げ(m)	R06	20.68	20.75	20.82				ソフトボール投げ(m)	R06	13.65	13.15	13.63			
	R05	20.27	20.52	20.73					R05	13.63	13.22	13.73			
合計点(点)	R06	52.30	52.53	52.32				合計点(点)	R06	53.88	53.92	53.99			
	R05	51.85	52.59	52.29					R05	54.22	54.28	54.14			

15

## 2 調査結果について

報告事項 4

### (1) 実技に関する調査【小学校】「経年変化（合計点）」

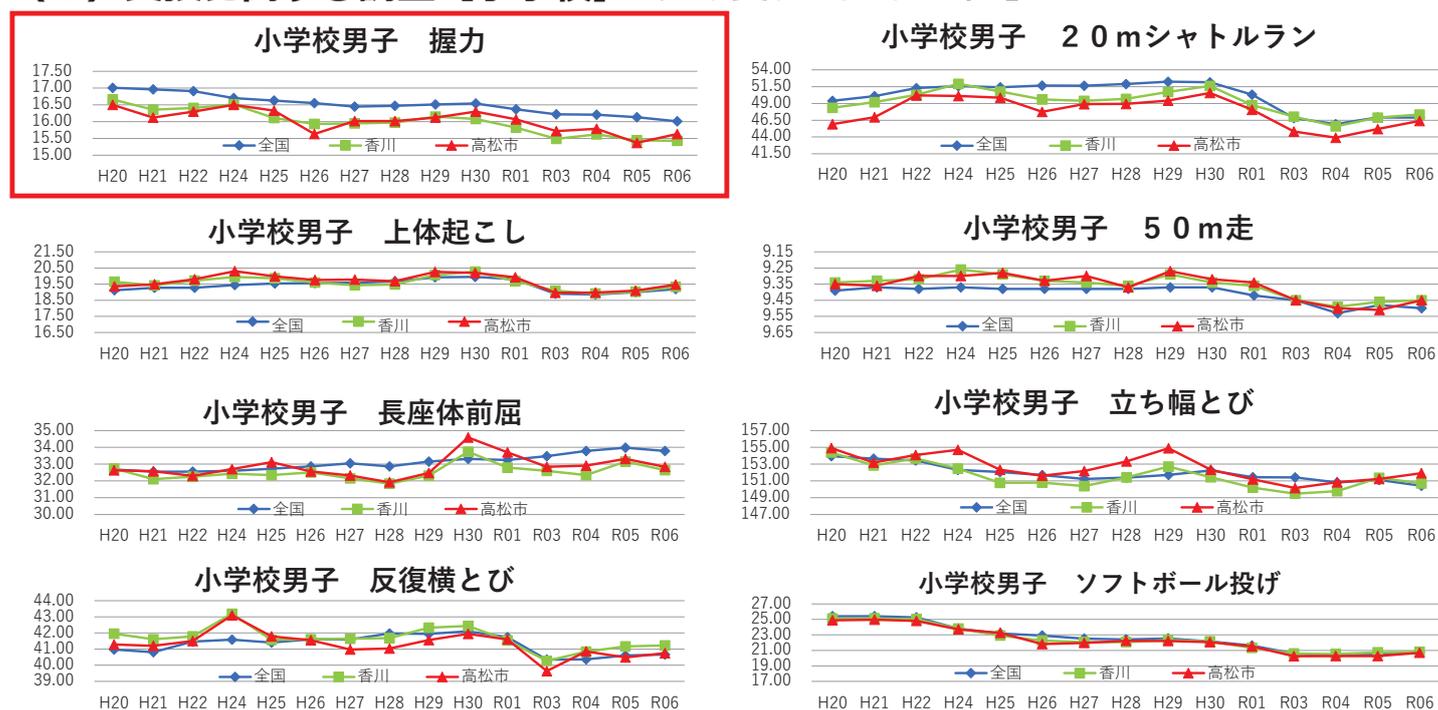


16

## 2 調査結果について

報告事項 4

### (1) 実技に関する調査【小学校】「経年変化（各種目）」

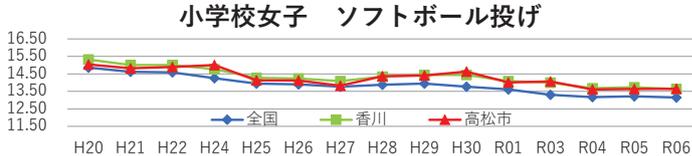
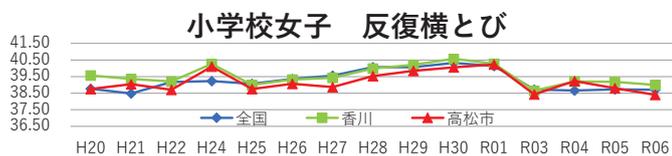
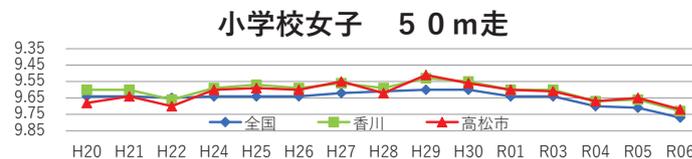
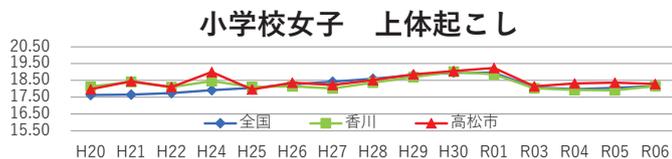
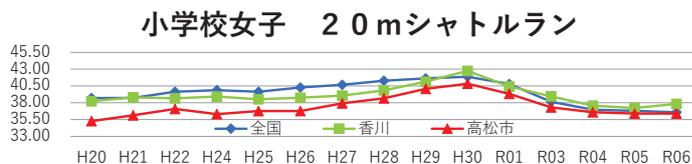
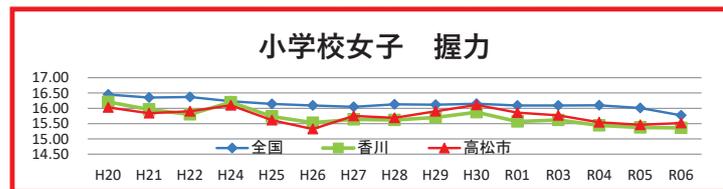


17

## 2 調査結果について

報告事項 4

### (1) 実技に関する調査【小学校】「経年変化（各種目）」

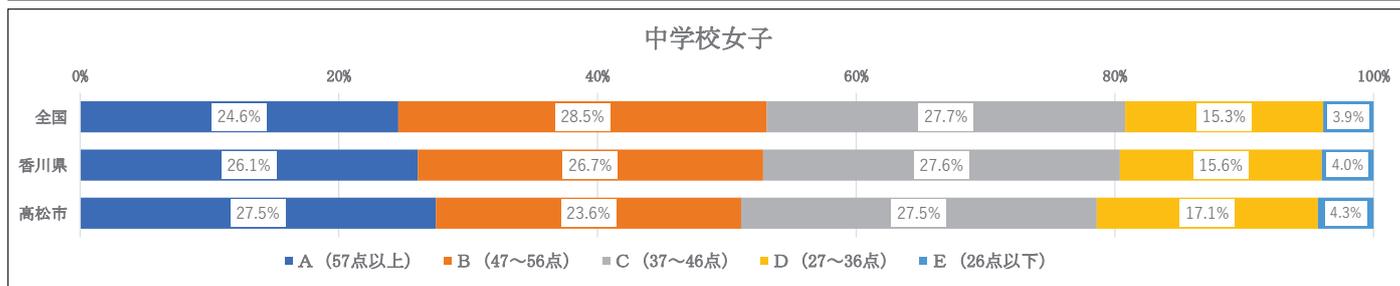
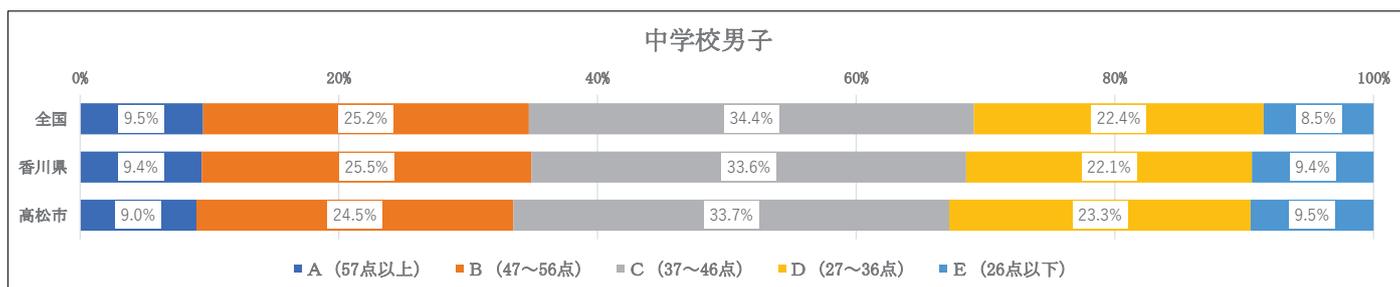


18

## 2 調査結果について

報告事項 4

### (1) 実技に関する調査【中学校】「総合評価」



19

## 2 調査結果について

報告事項 4

### (2) 実技に関する調査【中学校】「各種目別結果」

中学校男子							
	年度	高松市	全国	香川	全国比	県比	昨年比
握力(kg)	R06	28.46	28.95	28.76			
	R05	29.11	29.02	28.98			
上体起こし(回)	R06	25.29	25.94	25.34			
	R05	25.71	25.82	25.43			
長座体前屈 (cm)	R06	42.89	44.47	44.29			
	R05	44.34	44.16	44.19			
反復横とび (点)	R06	51.88	51.51	51.88	○		
	R05	51.95	51.22	52.14			
20mシャトルラン (回)	R06	77.93	78.98	78.31			
	R05	79.27	78.07	79.41			
50m走 (秒)	R06	8.03	7.99	8.00			
	R05	7.96	8.01	7.93			
立ち幅とび (cm)	R06	197.16	197.18	197.69			
	R05	199.68	197.02	199.45			
ハンドボール投げ(m)	R06	20.93	20.57	20.48	○	○	○
	R05	20.86	20.40	20.55			
合計点(点)	R06	41.27	41.86	41.70			
	R05	42.09	41.32	42.04			

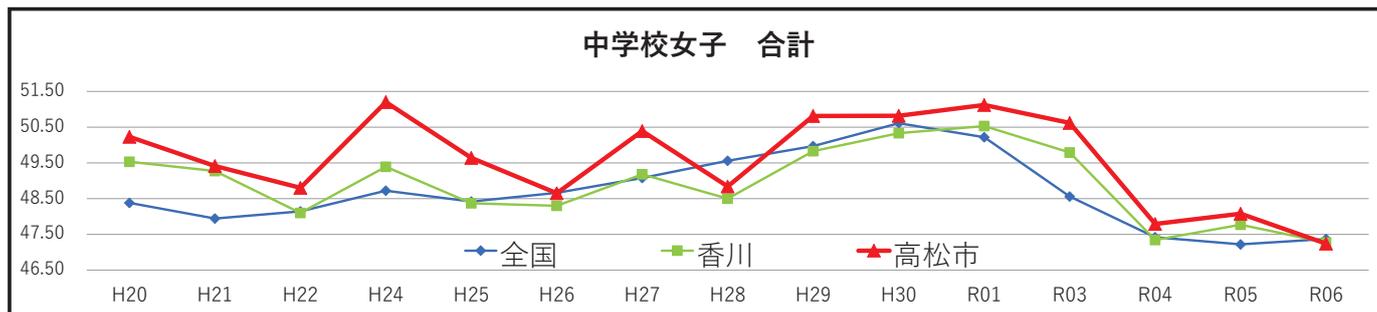
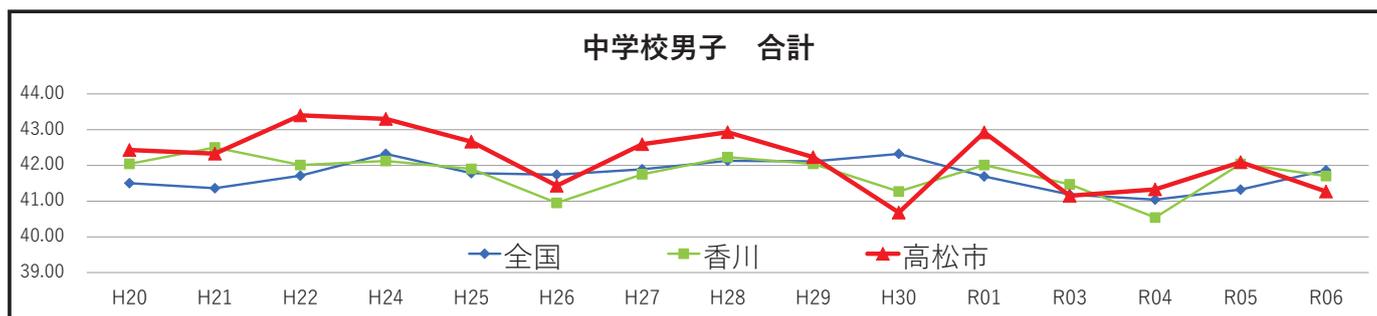
中学校女子							
	年度	高松市	全国	香川	全国比	県比	昨年比
握力(kg)	R06	23.22	23.18	23.26	○		
	R05	23.40	23.15	23.14			
上体起こし(回)	R06	20.65	21.56	20.65			
	R05	21.54	21.62	21.24			
長座体前屈 (cm)	R06	45.44	46.47	46.21			
	R05	46.43	46.27	46.31			
反復横とび (点)	R06	45.95	45.65	45.65	○	○	
	R05	46.17	45.65	46.34			
20mシャトルラン (回)	R06	50.54	50.67	50.94			
	R05	51.97	50.70	51.70			
50m走 (秒)	R06	9.02	8.96	8.99			
	R05	8.94	8.95	8.92			
立ち幅とび (cm)	R06	168.02	166.32	167.91	○	○	
	R05	170.59	166.34	169.03			
ハンドボール投げ(m)	R06	12.75	12.40	12.49	○	○	
	R05	12.79	12.43	12.48			
合計点(点)	R06	47.24	47.37	47.27			
	R05	48.08	47.22	47.77			

20

## 2 調査結果について

報告事項 4

### (2) 実技に関する調査【中学校】「経年変化 (合計点)」



21

## 2 調査結果について

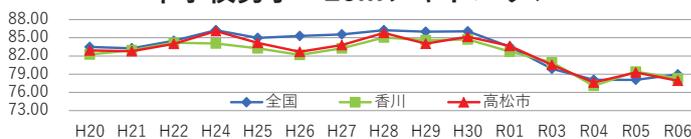
報告事項 4

### (2) 実技に関する調査【中学校】「経年変化（各種目）」

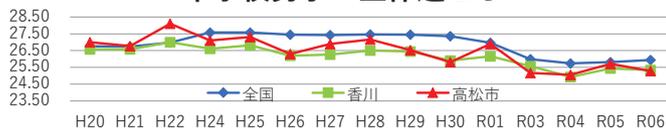
中学校男子 握力



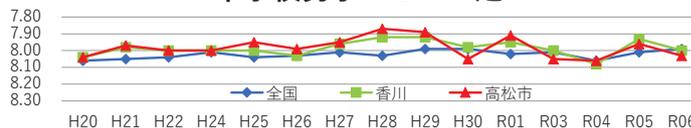
中学校男子 20mシャトルラン



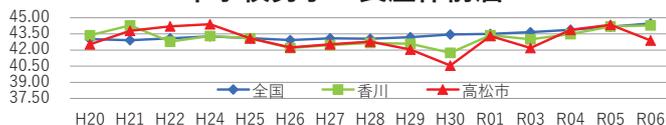
中学校男子 上体起こし



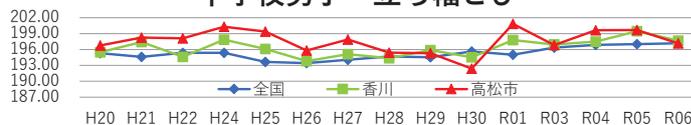
中学校男子 50m走



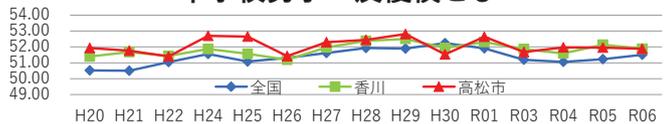
中学校男子 長座体前屈



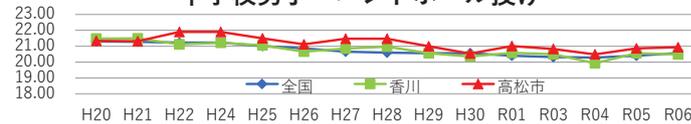
中学校男子 立ち幅とび



中学校男子 反復横とび



中学校男子 ハンドボール投げ



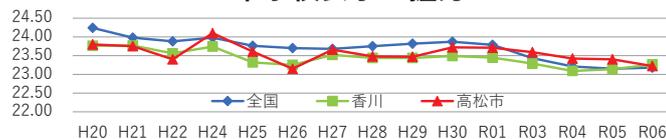
22

## 2 調査結果について

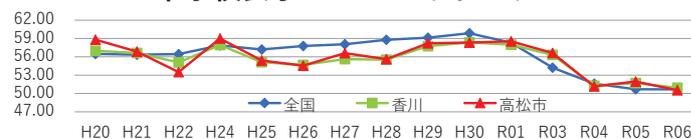
報告事項 4

### (2) 実技に関する調査【中学校】「経年変化（各種目）」

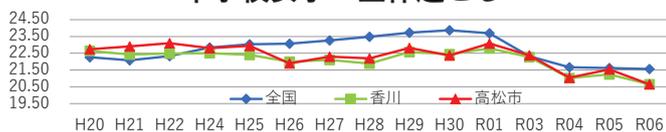
中学校女子 握力



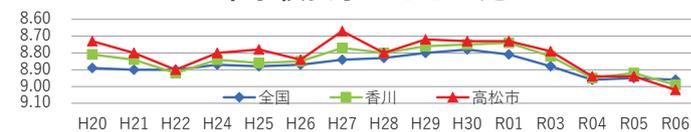
中学校女子 20mシャトルラン



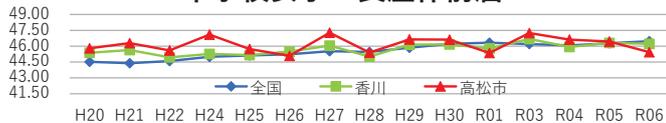
中学校女子 上体起こし



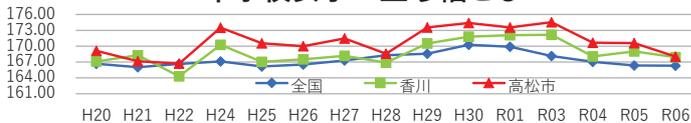
中学校女子 50m走



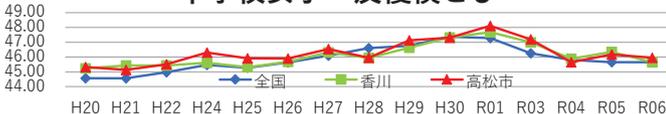
中学校女子 長座体前屈



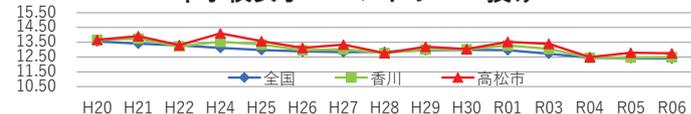
中学校女子 立ち幅とび



中学校女子 反復横とび



中学校女子 ハンドボール投げ

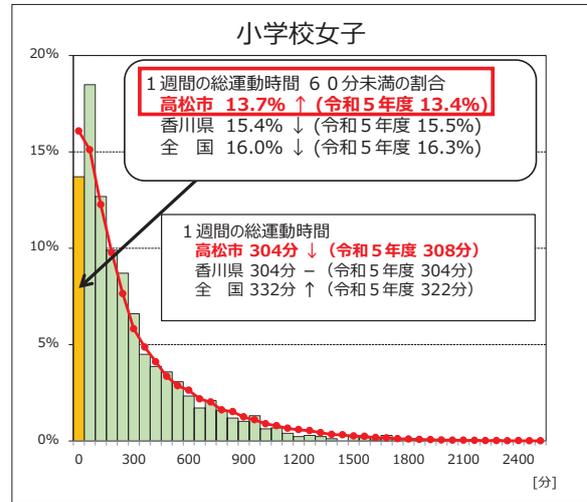
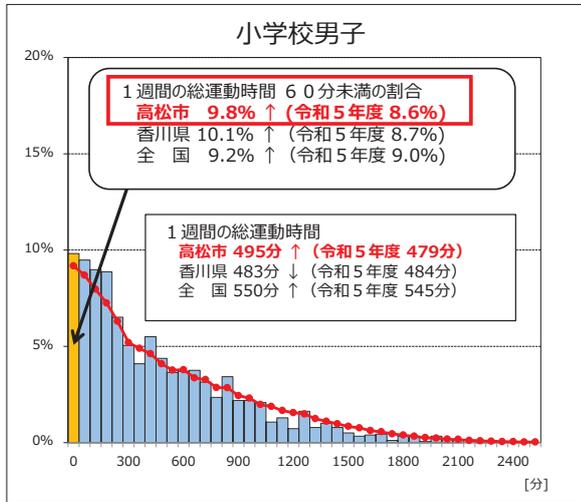


23

## 2 調査結果について

### (3) 運動習慣・生活習慣に関する質問紙調査

#### 「1週間の総運動時間の分布及び平均」

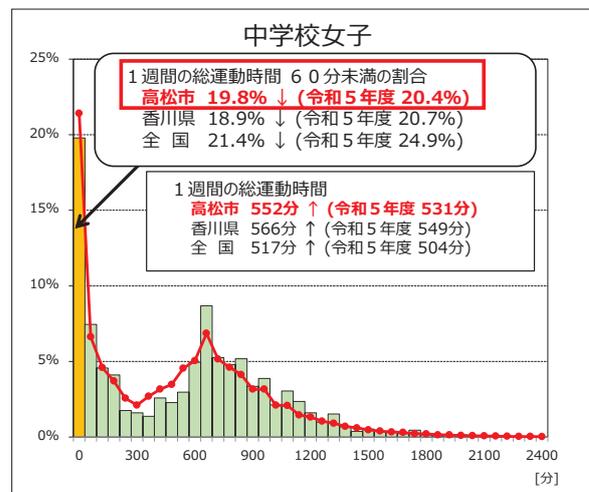
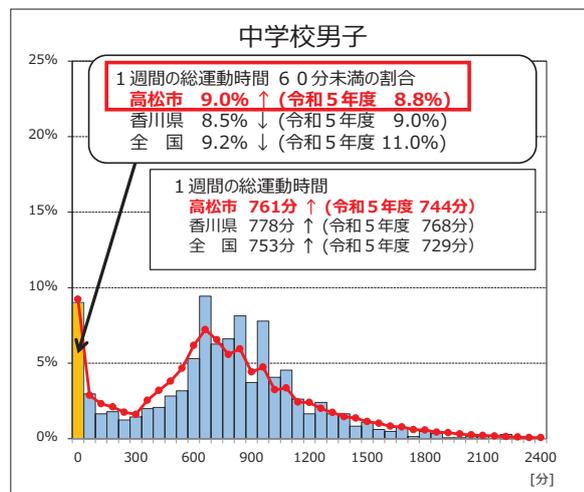


※ 1週間の総運動時間の分布を、横軸を60分の階級、縦軸を割合で表しています。(0～59分、60～119分、120～179分………、)  
 ※折れ線グラフは、全国の分布です

## 2 調査結果について

### (3) 運動習慣・生活習慣に関する質問紙調査

#### 「1週間の総運動時間の分布及び平均」

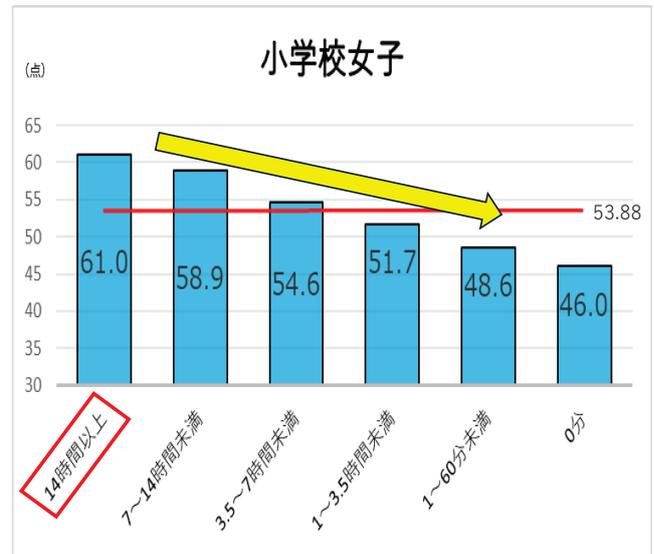
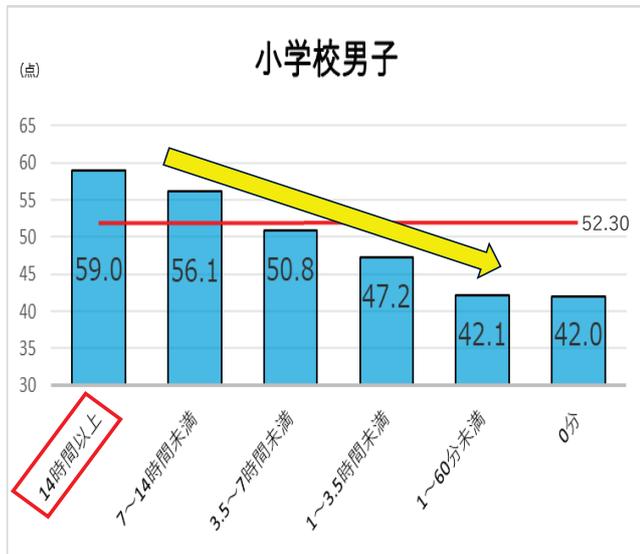


※ 1週間の総運動時間の分布を、横軸を60分の階級、縦軸を割合で表しています。(0～59分、60～119分、120～179分………、)  
 ※折れ線グラフは、全国の分布です

## 2 調査結果について

### (3) 運動習慣・生活習慣に関する質問紙調査

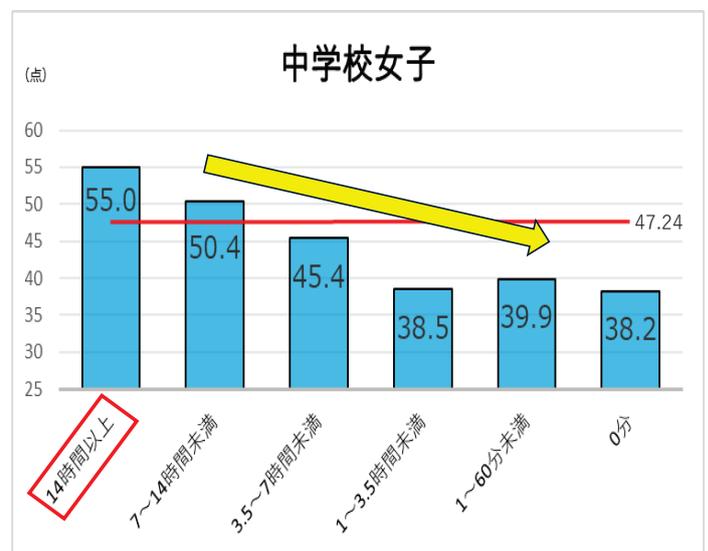
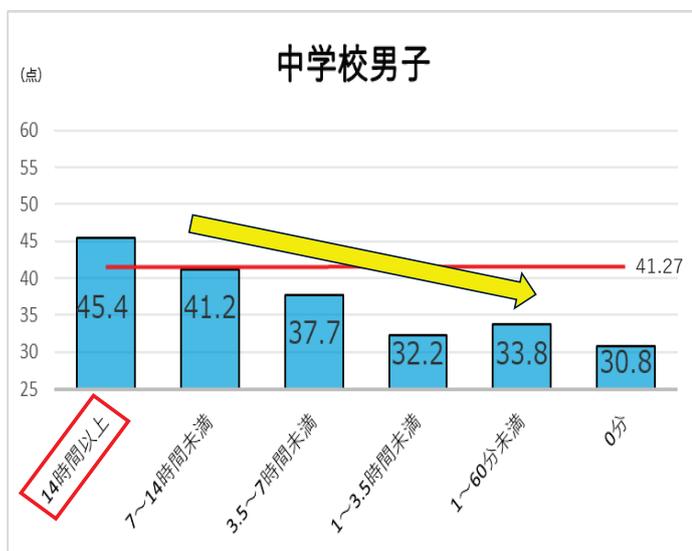
「1週間の総運動時間と体力合計点との関連」



## 2 調査結果について

### (3) 運動習慣・生活習慣に関する質問紙調査

「1週間の総運動時間と体力合計点との関連」

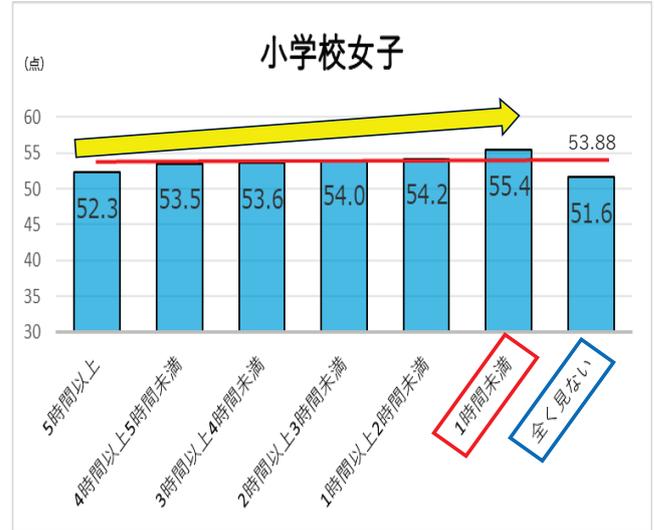
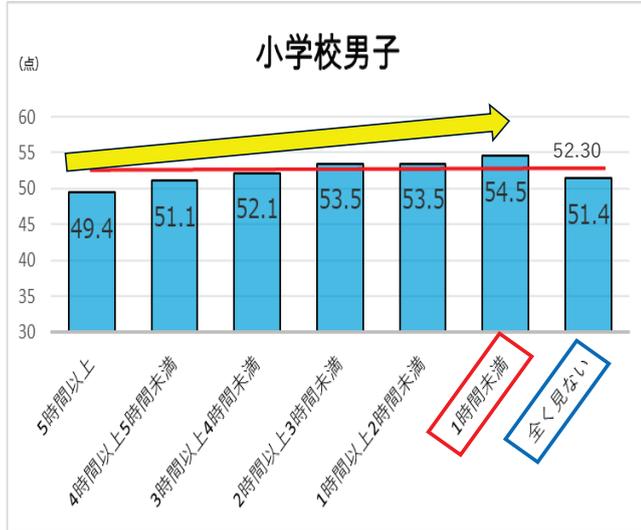


## 2 調査結果について

報告事項 4

### (3) 運動習慣・生活習慣に関する質問紙調査

「平日の学習以外でのスクリーンタイム（テレビやDVD・ゲーム機・スマートフォン・パソコンなどの画面視聴時間）と体力合計点との関連」



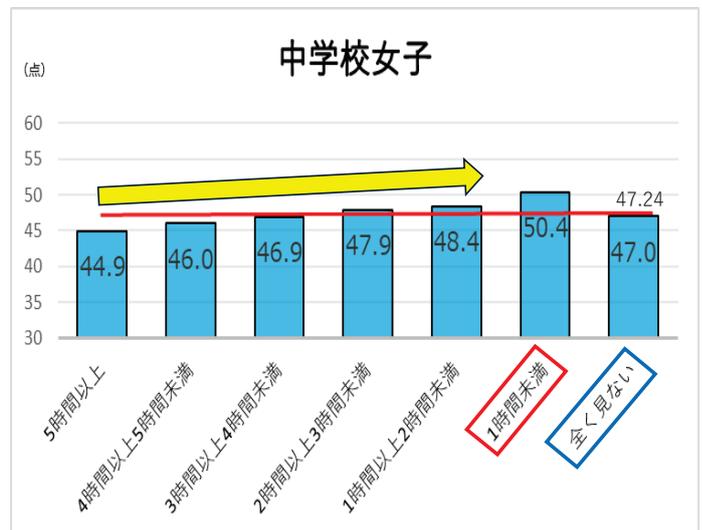
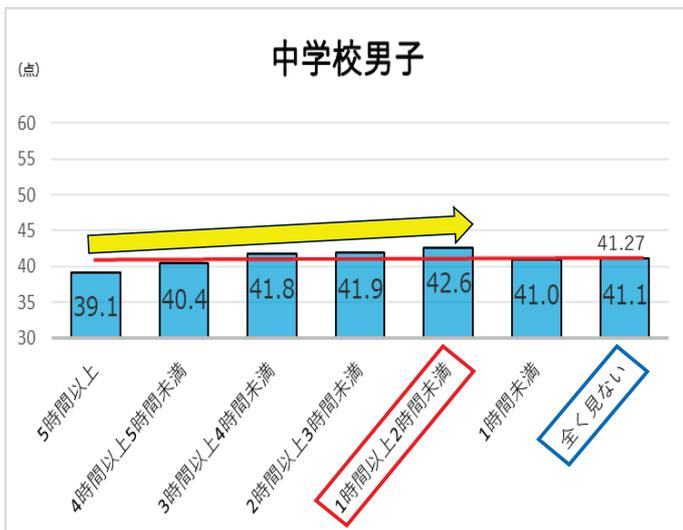
28

## 2 調査結果について

報告事項 4

### (3) 運動習慣・生活習慣に関する質問紙調査

「平日の学習以外でのスクリーンタイム（テレビやDVD・ゲーム機・スマートフォン・パソコンなどの画面視聴時間）と体力合計点との関連」

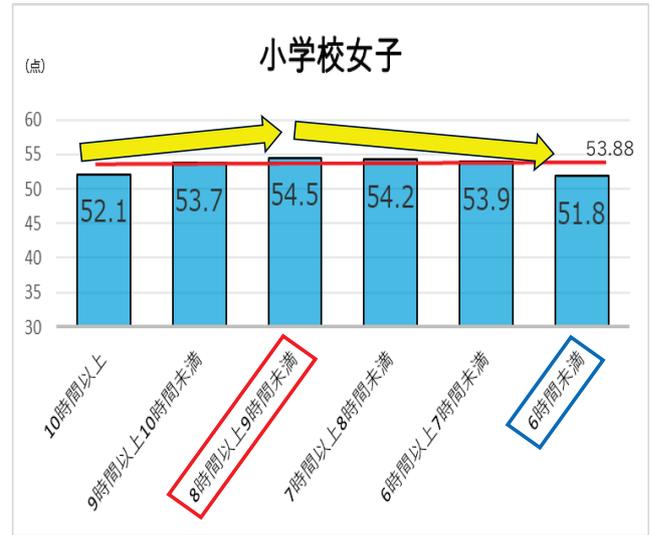
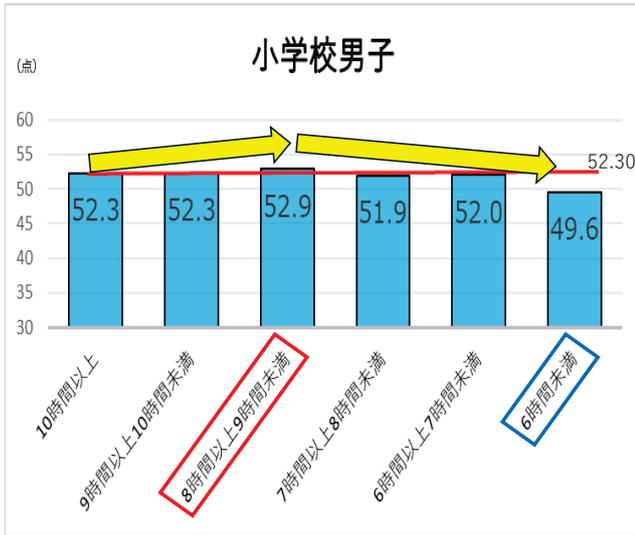


29

## 2 調査結果について

### (3) 運動習慣・生活習慣に関する質問紙調査

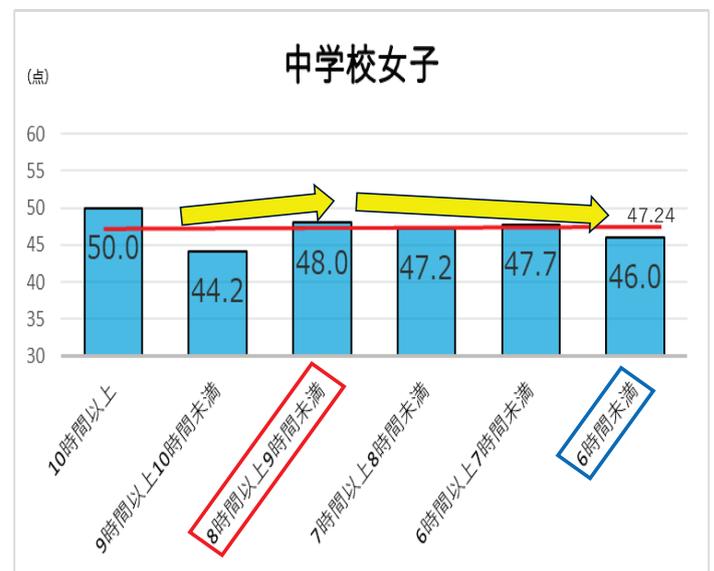
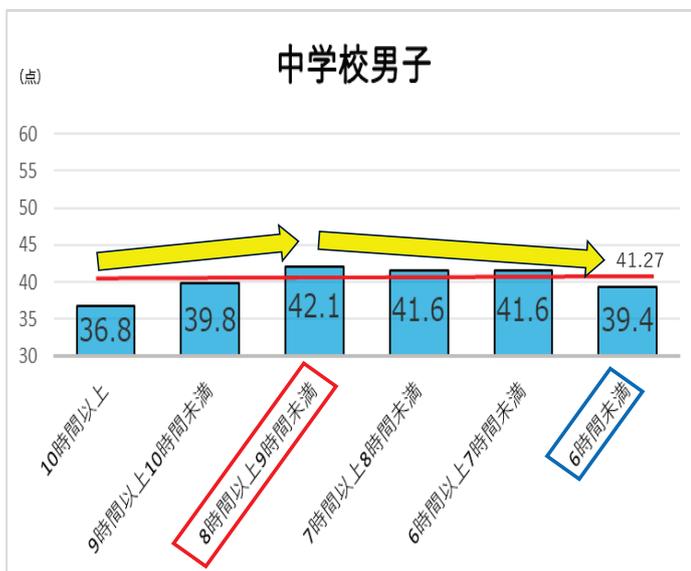
「1日の睡眠時間と体力合計点との関連」



## 2 調査結果について

### (3) 運動習慣・生活習慣に関する質問紙調査

「1日の睡眠時間と体力合計点との関連」

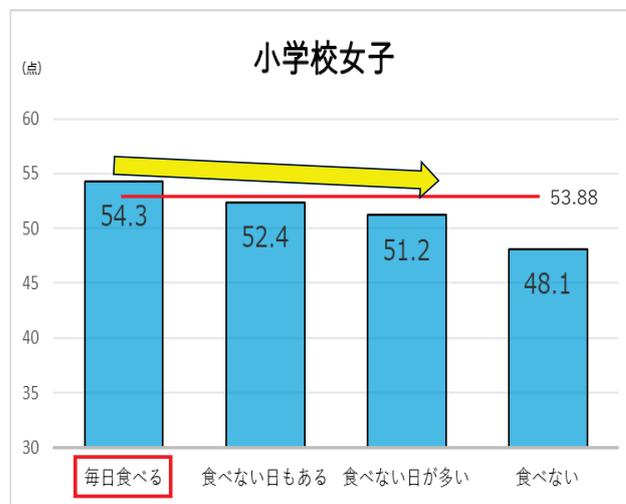
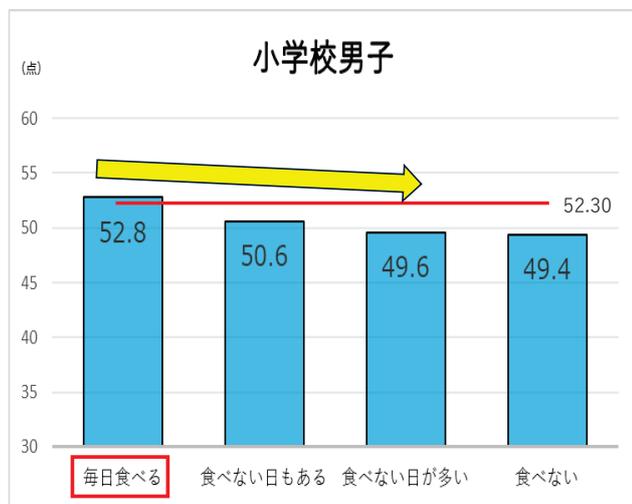


## 2 調査結果について

報告事項 4

### (3) 運動習慣・生活習慣に関する質問紙調査

「朝食を食べる割合と体力合計点との関連」



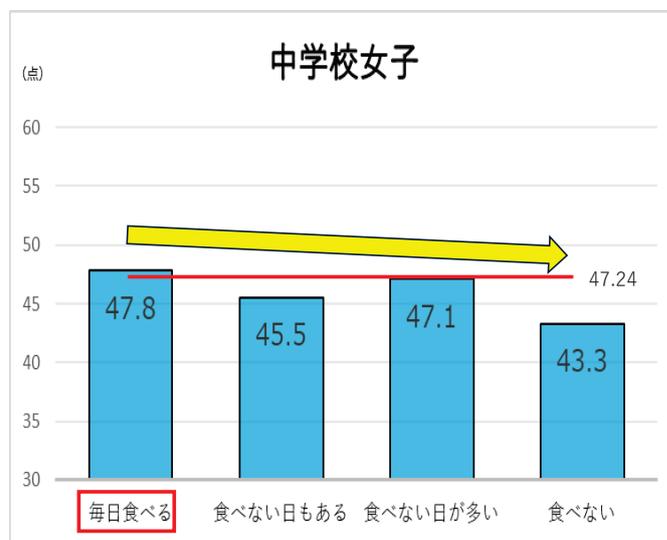
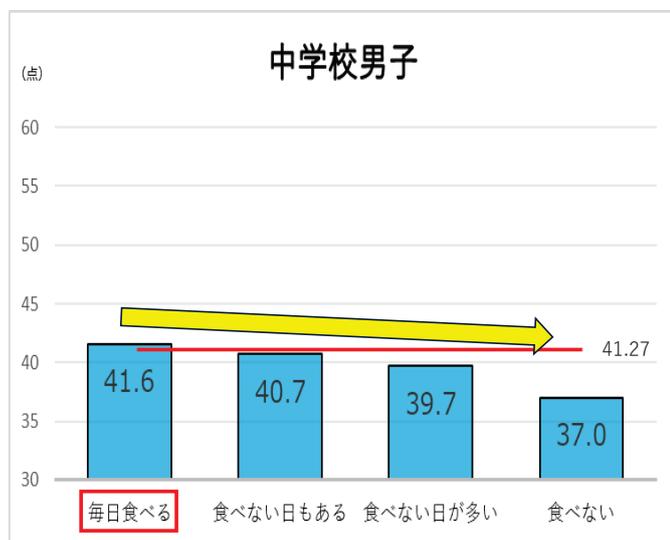
32

## 2 調査結果について

報告事項 4

### (3) 運動習慣・生活習慣に関する質問紙調査

「朝食を食べる割合と体力合計点との関連」



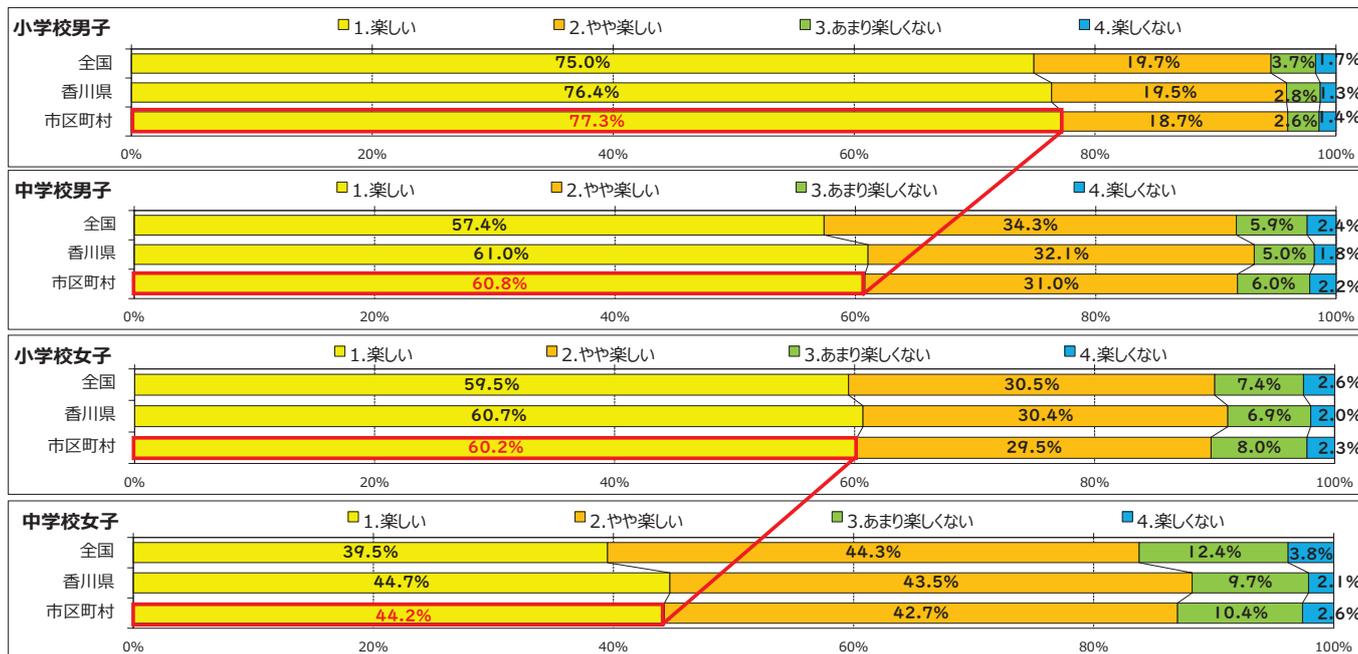
33

## 2 調査結果について

報告事項 4

### (4) 授業等に関する質問紙調査

「体育（保健体育）の授業は楽しいですか。」



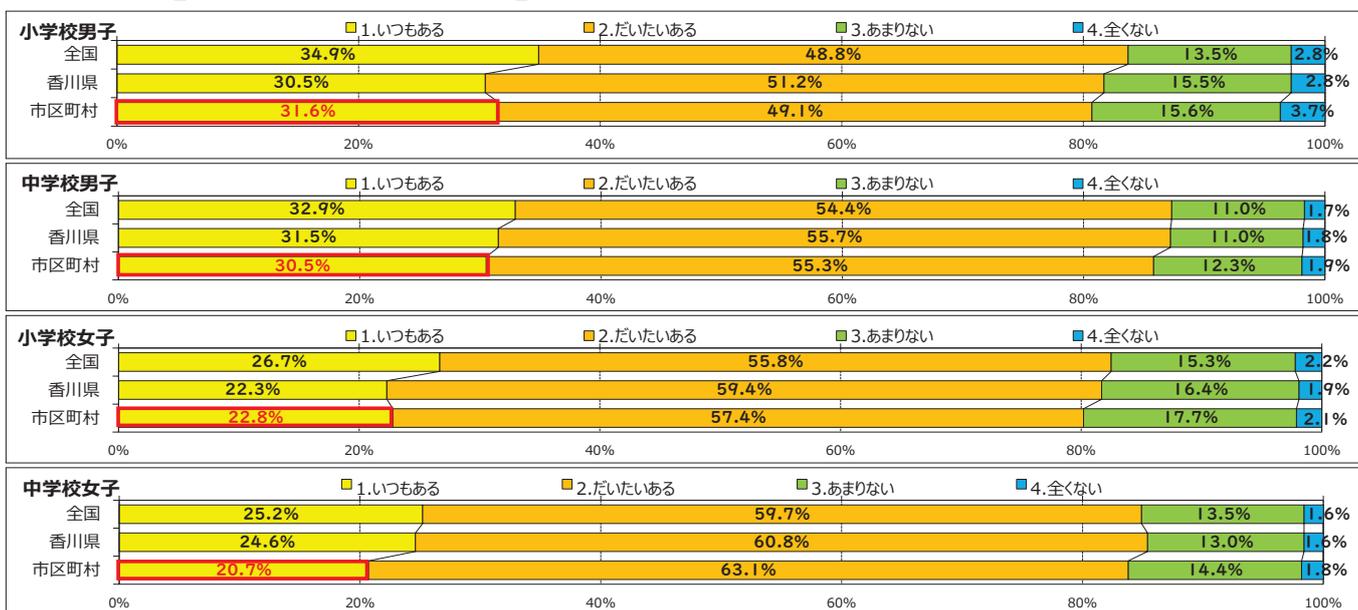
34

## 2 調査結果について

報告事項 4

### (4) 授業等に関する質問紙調査

「保健体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。」



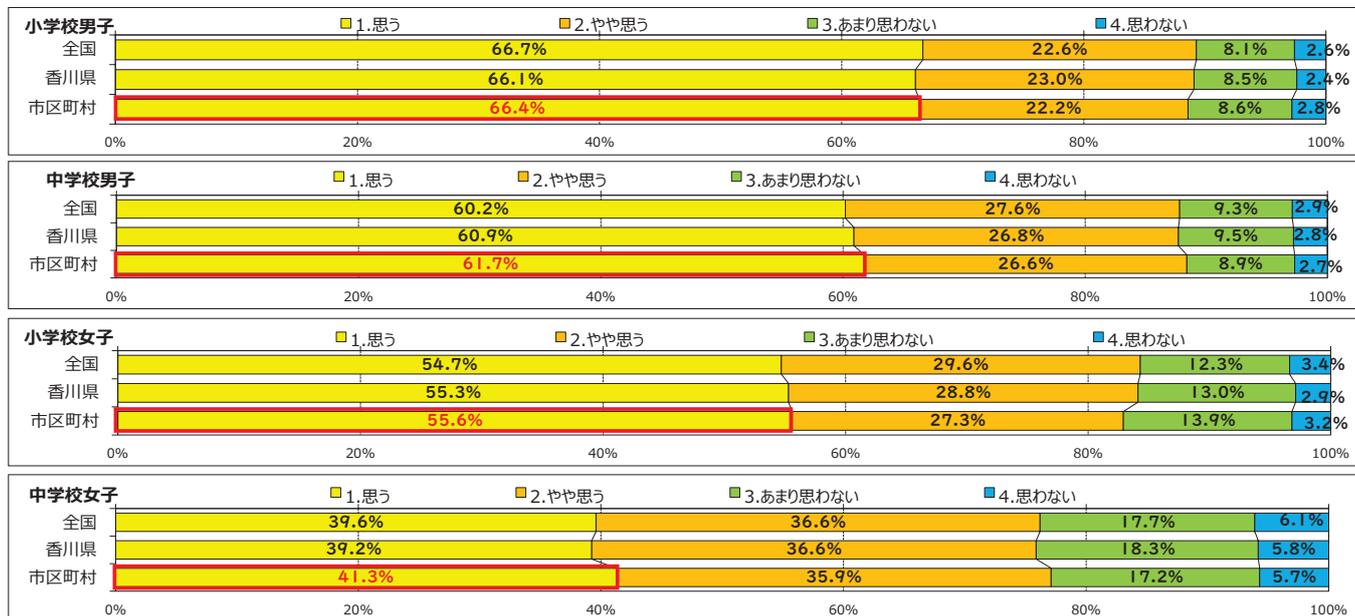
35

## 2 調査結果について

報告事項 4

### (4) 授業等に関する質問紙調査

「卒業後、自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。」



36

## 3 調査結果のまとめ

報告事項 4

今回の調査結果を受けて、以下の項目について分析を行った。

分析項目		分析結果
1	【小学校】 握力（筋力）の低下	生活環境の変化から日常生活で重い荷物を運ぶ、力をかけるなどの活動が減少してきているため。 → <b>県の取組「にぎりンピック in Kagawa」への参加啓発</b> <b>体育「器械運動系」「体力づくり運動系」の充実（取組事例の紹介）</b>
2	【中学校】 上体起こし （筋持久力）の低下	コロナ禍でのインドア生活が増えたこと。スマホ・タブレットのなど、座っている時間が長くなり、姿勢悪化につながってきたため。日常生活で腹筋に力が入らない。 → <b>保健体育「器械運動」「体力づくり運動」の充実（取組事例の紹介）</b>
3	運動習慣の二極化	①空間の減少、②時間の減少、③なかまの減少、④体育嫌い・苦手意識の4つの要素が主に組み合わさっているため。 → <b>エコジカル・アプローチの活用等（ICT機器の有効活用）</b> → <b>体育好きの子どもを育てる</b> → <b>生涯スポーツへのつながり（スポーツに関わる）</b> → <b>次世代の子どもが大人の姿を見る</b>
4	生活習慣との関連 ・スクリーンタイム ・睡眠時間 ・朝食 と体力合計点	・運動の魅力や目的が、スクリーンタイム（ネットでなかまとつながりをもてる）に置き換わり、運動意欲の減少が起こっているため。（肥満を助長） ・塾などの影響で、就寝時刻が遅くなっており、十分な睡眠時間が確保できていないため。（スクリーンタイムとの関連も大きい。） ・朝食は、①エネルギーの補充、②体内時計をリセット、③体温の上昇、④骨や筋肉を作るなどの大切な役割を担っているため。朝食で一日を始める習慣が身につくことが運動や睡眠など他の活動的な生活習慣にも影響を及ぼしていると考えられる。 → <b>「早寝早起き朝ごはん運動」「スマートメディア教育」等の活用</b> <b>健康三原則の重要性を学校や教育委員会から家庭や地域に啓発・連携</b>

37

# 報告事項 5

## 高松市菊池寛記念館及び高松市歴史資料館 展示リニューアル案について

### 創造都市推進局文化財課

38

#### 菊池寛記念館 リニューアルの考え方

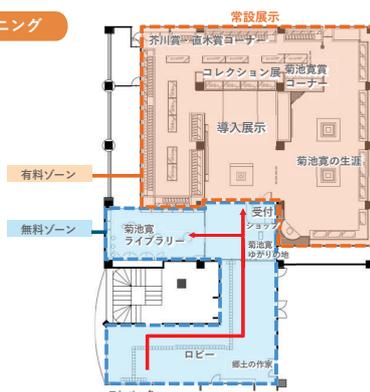
#### 報告事項 5

#### 菊池寛に出会い、好きになる！通いたくなるミュージアム 菊池寛記念館

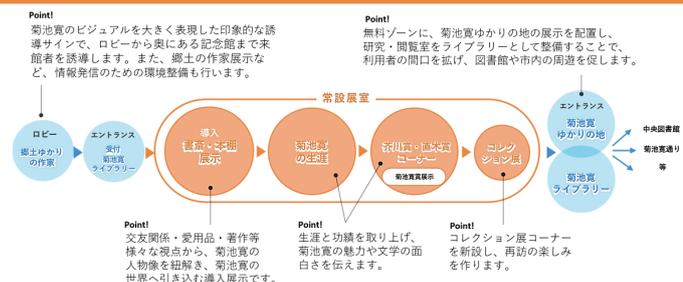
リニューアル方針	菊池寛の多彩な業績や作品を、より見やすく、わかりやすく伝える	幅広い世代の方が、文学に親しみ、楽しむことができる施設	来るたびに新しい発見がある、何度も楽しめる展示	図書館と連携し、地域に根差した本や文学に出会う場所へ
取組	<p><b>親しみやすく、興味を惹く展示デザイン</b></p> <p>展示コーナー「菊池寛の生涯」では、資料を近くで見られるローケースを導入します。また、興味を惹くデザインで展示や解説を作成します。</p> <p><b>わかりやすく、理解を深める情報展開</b></p> <p>導入から始まり、段階的に学びが深まる展示構成によって、来館者の興味と学習効果を高めます。また、わかりやすい展示解説に刷新します。</p>	<p><b>芥川賞・直木賞など文学の世界に触れる展示</b></p> <p>菊池寛の展示だけでなく、菊池寛が創設した芥川賞・直木賞受賞作家の展示を行い、広く本や文学との出会いとなる展示をつくります。</p> <p><b>文学に親しむ菊池寛ライブラリー</b></p> <p>無料ゾーンの菊池寛ライブラリーでは、菊池寛作品や様々な文学作品を配架し、実際に手に取りながら文学を身近に感じられる場所とします。</p>	<p><b>展示替えがしやすい更新性の高い展示づくり</b></p> <p>「菊池寛の生涯」では展示替えがしやすいローケースを導入。また、芥川賞・直木賞コーナーは、継続的な展示更新ができるよう整備します。</p> <p><b>コレクション展コーナーの新設</b></p> <p>菊池寛記念館の所蔵資料を企画展示するコーナーを新たに設けます。定期的に企画展示を行うことにより、来館者の再訪につなげます。</p>	<p><b>図書館との連携</b></p> <p>菊池寛記念館で作品や文学と出会い、中央図書館で実際に作品を借りるなど、複合施設の強みを活かした連携を行います。</p> <p><b>郷土の作家や菊池寛ゆかりの地を紹介</b></p> <p>ロビーでは、関連施設の情報掲示や、郷土ゆかりの作家を紹介します。また、菊池寛ゆかりの地を紹介し、地域に根差した情報発信を行います。</p>

#### 展示のゾーニングと構成 リニューアルのポイント

##### 展示ゾーニング



##### 菊池寛と文学の世界に引き込む展示構成



##### ユニバーサルデザインへの対応

子どもや車いす利用者も見やすい展示ケースや解説パネルとします。

##### 照明機器・天井や壁の更新

照明のLED化や、天井、壁の更新を行います。

39

主な改修ポイントとねらい

菊池寛と文学の世界に親しむ展示！

新たな発見や学びを得られる展示とすることで、菊池寛や文学の魅力・面白さを伝えます。

**6 菊池寛が創設した芥川賞・直木賞の受賞作家を一覧する**  
日本で唯一、菊池寛記念館にしかない芥川賞・直木賞コーナーを見やすく整備。今後の更新にも対応し、何度も訪れる楽しみをつくります。

**7 気軽に文学に触れる**  
落ち着いて滞在できる読書空間とし、菊池寛作品や文学との出会いを育みます。

**1 菊池寛に誘われるロビー空間**  
エレベーターホールの掲示板や誘導サインを刷新。世界観を作り、館内へと誘引します。

**5 菊池寛の生涯を見渡す**  
壁一面に並ぶ解説と資料によって、菊池寛の生涯を辿る展示です。菊池寛に親しむ、わかりやすい展示とします。また、菊池寛を語る上で欠かせない、主な作品と出版物については象徴的に取り上げます。

**4 人間・菊池寛に出会う**  
作家・実業家として、様々な功績を残した菊池寛を紹介する導入展示です。菊池寛をもっと知りたくなるきっかけをつくります。

**3 市内周遊を促すエントランス**  
現在の受付を整理します。また、市内の菊池寛ゆかりのスポットを取り上げたマップを設置し、市内の散策に繋がります。

**2 郷土ゆかりの作家を紹介**  
郷土ゆかりの作家を紹介します。気になる作品は図書館で借りることができます。

エレベーターホール 菊池寛に誘われるロビー空間

エレベーターホールから記念館入口までの空間を活用し、アプローチの改善と情報発信を行います。

**掲示板**  
イベントや関連施設の情報を整理し、見やすく掲示することで発信力を強化します。

**待ち構える菊池寛②**  
目線の先で待ち構える菊池寛の姿で、曲がり角奥にある記念館へ誘います。

**ゆかりの作家展示**  
郷土ゆかりの作家を紹介。図書館の利用につなげます。

**出迎える菊池寛①**  
エレベーターの扉が開くと目に飛び込む菊池寛の姿。このフロアに記念館があることが一目でわかります。

芥川賞・直木賞コーナー

日本でここだけ！芥川賞・直木賞受賞作家を一覧する  
菊池寛が創設した芥川賞・直木賞の歴代の全受賞者を展示するコーナー。今後も継続的な更新ができるよう整備します。

**BEFORE** **AFTER**

**受賞作家一覧**  
壁面の高さを有効活用した展示方法で、継続的に更新できる展示面積を確保します。また、手元で見られる詳細解説、受賞本の展示に加え、各時代の世相解説を追加し、より興味を惹く展示へとリニューアルします。

菊池寛の生涯展示 菊池寛の生涯を見渡す

壁側では、執筆原稿等の資料展示や解説パネルによって、幼少期から晩年までの菊池寛の生涯を辿ります。中央の展示では、菊池寛の「作家」と、「実業家」としての功績をクローズアップします。

**照明機器・天井や壁の更新**

**菊池寛 生涯展示 壁面解説**  
菊池寛の人生を解説するパネルは、見やすいデザインで、わかりやすい解説に刷新し、学習意欲を高めます。また、ポイントとなる本はセックアップして展示します。

**展示ケースの刷新**  
既存の展示ケースを撤去し、展示替えがしやすく、近くで資料を見ることが出来るローケースを採用します。

**ユニバーサルデザインへの対応**  
子どもや車いす利用者も見やすい展示ケースや解説パネルとします。

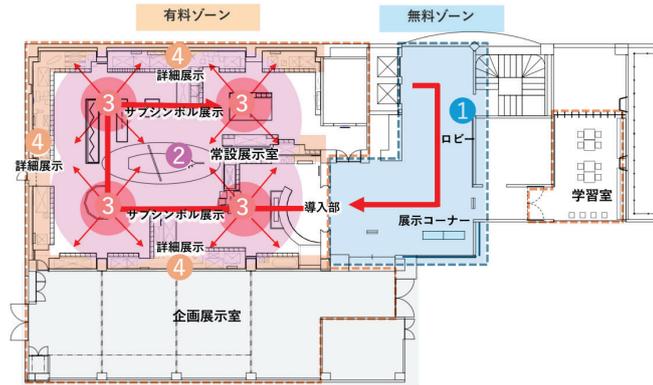
**菊池寛 作品・出版物展示**  
著作や舞台模型等を用いて、菊池寛の作品の魅力を紹介。また、「実業家」の側面をはじめとした数々の出版物に残した功績をわかりやすく伝えます。

高松に根差した市民のためのミュージアム！

高松市歴史資料館

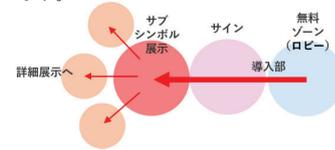
リニューアル方針	子どもも大人も楽しめるよう間口を広げる	地域に根差した情報発信と地域学習の促進	来館者も運用側も安心して利用できる
	親しみやすく・理解を助けるデザイン・レイアウト	地域に根差した学術情報の提供	老朽化したハード・ソフトの更新
取組	資料館の敷居を下げ、学びの意欲を高める、親しみあるデザインやレイアウトにリニューアルします。	屋島や讃岐国分寺跡、高松城等、高松市に根差した歴史資料館として、新しい地域の歴史・魅力を発信します。	老朽化した機器類を撤去し、利用しやすい空間に更新します。また、展示内容も現在の調査に基づいたものへとアップデートします。
	興味を惹く、理解を深める情報展開	市民や子どもたちの学習を支える	誰もが利用しやすい工夫
	サブシンボル展示の設置や、壁面展示の刷新によって、来館者の興味関心を惹き、高松の歴史をわかりやすく伝えます。	歴史に馴染みのない人や子どもたちにもわかりやすい展示解説や、サンクリスタル学習での活用を見据えた展示づくりを行います。	ゾーンサインやコーナーサインの見直し、ゾーンカラーの設定等により、動線やゾーニングを明快にします。

常設展示のゾーニングと構成



Point! 常設展示へと段階的に興味と理解を深めるゾーニングと構成

- 資料館への誘導空間として、情報発信しやすいよう環境整備を行います。博物館が目的でない人にも間口を拡大し、利用を促します。
- 見やすく親しみやすいサインによって来館者の視線と興味を惹きつけます。
- 4つの時代のサブシンボル展示によって、高松の歴史のハイライトを印象的に伝えます。
- 壁側の詳細展示で通史や資料を展示し、段階的な解説手法とともに理解を一層深めます。



主な改修ポイントとねらい

高松の歴史にもっと惹かれる！ 広がる展示と深まる展示

常設展示の改修により、歴史の関心が薄い人も興味を誘われる「広がる展示」と、段階的な情報展開でわかりやすく伝える「深まる展示」によって、高松の歴史・文化の魅力をもっと市民に届けます。また、企画展示室については、照明のLED化等の展示環境を整えるとともに、学習室については、多目的な活用に向けた整備を行います。

- 博物館が目的でない人も間口を拡大し、利用を促すロビー  
資料館への誘導空間として情報発信しやすい環境整備を行います。
- 見やすく、親しみやすい展示空間  
ゾーンサイン、コーナーサインを刷新。更にゾーンカラーも設定することで区分を明快にします。明るく親しみやすい雰囲気のある展示空間にリニューアルします。
- 高松のここがみどころ！  
サブシンボル展示で要点を学ぶ  
各時代のハイライトとなる出来事を取り上げた「サブシンボル展示」を作成。体験性を持たせ、わかりやすく、歴史の要点を伝えます。
- 段階的に学びが深まる壁面展示  
情報を一方的に伝える展示から、問いかけや概要解説など、段階的に理解を深めるわかりやすい解説手法を適宜採用します。
- 調光機能を持つLED照明など、展示環境が整った企画展示室  
資料の保護を図りながらLED化を行うとともに、退色した壁紙を刷新し企画展示室の展示環境を整えます。
- 展示もワークショップも多目的に使える学習室  
研究成果を展示する速報展や高松にゆかりのある先人顕彰の展示、ワークショップ等、多目的に活用できる空間にリニューアルします。

高松のココが見どころ！ハイライトを体感する

高松の歴史の要点である4つのトピック（屋嶋城、源平屋島合戦、高松城、高松港）を取り上げたサブシンボル展示をつくり、高松の歴史の見どころをわかりやすく伝えます。サブシンボル展示は、模型等を用いた直感的で親しみやすい展示とすることで、子どもから大人まで幅広く興味・関心を惹きます。

サブシンボル展示 1

古代山城 屋嶋城 ー 原始・古代ゾーンー

7世紀に日本の国防を担った山城・屋嶋城の展示。段階的にクローズアップする複数の簡易模型が、歴史的な背景や城の構造をわかりやすく伝えます。



城門の再現模型  
高い城壁や懸門など、  
防御に優れた構造を解説。

Point! 段階的にクローズアップする複数の簡易模型



サブシンボル展示 3

段階的にクローズアップする＝情報が深まる

高松城 ー 近世ゾーンー

高松のシンボル・高松城を取り上げる展示。城下町、城郭、天守、鯨（指定文化財）、段々とズームアップする4つ視点から高松城の魅力に迫ります。

城下町展示

背面：城郭展示



天守展示

鯨展示

Point! 城下町→城郭→天守→鯨 スームアップで学びもアップ!

サブシンボル展示 2

源平屋島合戦 ー 中世ゾーンー

源平合戦の命運を決定づけた屋島合戦を学ぶ展示。平家物語で描かれた屋島合戦の名場面を、源平合戦図屏風の中から探す体験展示です。



拡大源平合戦屏風パネル

Point! 平家物語の名シーンを  
屏風の中から探し当てて!

背面：源平合戦解説＋登場人物紹介  
裏面には源平合戦の全容と、平氏・源氏の  
主要キャラクターを紹介。

サブシンボル展示 4

高松港 ー 近現代ゾーンー

既存の高松港模型を間近で見られるように改良します。また、新たにできたスペースに、戦後以降の展示コーナーを増設します。



Point! 360度ぐるりと観察

高松港の模型



## 令和7年第2回高松市議会定例会追加提出議案に対する意見の申出について

議案	内容	ページ
令和6年度高松市一般会計 補正予算（第9号）	別紙資料参照	1

&lt;歳出&gt;

単位：千円

項	目	細々目	補正前の額	補正額	補正後の額	補正事由	
1	小学校費	学校管理費	小学校校舎等整備事業費	323,512	4,543	328,055	【前倒し分】 国の補助認証に伴い、老朽化した校舎の改修等を実施するため、増額補正するもの
2	小学校費	学校管理費	小学校施設老朽化対策事業費	1,108,866	462,487	1,571,353	【前倒し分】 国の補助認証に伴い、老朽化した校舎の改修等を実施するため、増額補正するもの 【財源更正】 起債対象事業の増加に伴い、財源更正するもの (国 ▲19,413、市債 17,500 一財 ▲1,913)
3	小学校費	学校管理費	小学校バリアフリー化等施設整備事業費	20,853	85,998	106,851	【前倒し分】 国の補助認証に伴い、既存校舎へのエレベーター設置工事等を実施するため、増額補正するもの
4	小学校費	教育振興費	教師用教科書・教材費	211,204	△ 18,000	193,204	小学校における教師用教科書・指導書の数量が、当初の予定を下回ったため、減額補正するもの
5	中学校費	学校管理費	中学校施設老朽化対策事業費	61,735	285,791	347,526	【前倒し分】 国の補助認証に伴い、老朽化した校舎の改修等を実施するため、増額補正するもの 【財源更正】 起債対象事業の増加に伴い、財源更正するもの (国 ▲11,151、市債 12,300 一財 ▲1,149)
6	中学校費	学校管理費	中学校バリアフリー化等施設整備事業費	6,951	91,716	98,667	【前倒し分】 国の補助認証に伴い、既存校舎へのエレベーター設置工事等を実施するため、増額補正するもの
7	社会教育費	図書館費	電気、ガス、水道料及び電話料等	57,538	△ 8,000	49,538	電気料金が当初の予定を下回る見込みとなったため、減額補正するもの
8	社会教育費	図書館費	サンクリスタル高松リニューアル事業費	199,360	△ 20,000	179,360	図書館システム再構築業務委託料が当初の予定を下回る見込みとなったため、減額補正するもの
9	社会教育費	図書館費	図書館資料整備費	65,076	0	65,076	【財源更生】 公益財団法人香川県市町村振興協会市町交付金を受け入れることにより財源更正をするもの (他 23,113、一財 △23,113)
10	社会教育費	図書館費	ブックスタート事業費	2,300	0	2,300	【財源更生】 公益財団法人香川県市町村振興協会市町交付金を受け入れることにより財源更正をするもの (他 1,600、一財 △1,600)

繰越明許費補正

(単位：千円)

項	事業名	関係予算	翌年度繰越額	繰越事由
小学校費	校舎等整備費	328,055	38,475	予定していた支払時期が延期されたことなどにより、年度内に予算の執行が不可能となったため
	小学校施設老朽化対策事業費	1,571,373	637,262	国の補正予算事業の執行に当たり、実施期間を確保するなどのため
	小学校バリアフリー化等施設整備事業費	106,851	85,998	国の補正予算事業の執行に当たり、実施期間を確保するため
中学校費	校舎等整備費	231,449	48,764	設計内容の検討に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため
	中学校施設老朽化対策事業費	347,526	323,602	国の補正予算事業の執行に当たり、実施期間を確保するなどのため
	中学校バリアフリー化等施設整備事業費	98,667	91,716	国の補正予算事業の執行に当たり、実施期間を確保するため

令和 7 年

第 2 回高松市議会（定例会）

答 弁 要 旨

3 月議会

高松市教育委員会

日程	質問者	質問項目	答弁者	頁	
3月6日	代表質問 辻 正彦 議員 (自由民主党清新会)	21 本市にとっての四国遍路の所感について【参考】	市長	1	
		25 青少年のSNS等を通じた犯罪被害や加害の防止について	教育長	1	
	造田 正彦 議員 (市民フォーラム21)	11 教育について (1) 教職員の働き方改革			
		① 令和6年度の本市教職員の時間外在校等時間の数値と今後の取組	教育長	2	
		② 「基本的には学校以外が担うべき業務」について本市の現状と今後の見通し	教育長	2	
		(2) 不登校対策における「学びの多様化学校」の設置			
		① 不登校児童生徒の人数及びその推移、また、不登校児童生徒に対する現在の支援体制	教育長	2	
		② 「学びの多様化学校」の早期設置に向けて検討する考え	教育長	3	
		③ ICTを活用した遠隔授業の導入や家庭訪問による支援の強化についての今後の展望	教育長	3	
		3月7日	代表質問 大山 高子 議員 (公明党議員会)	7 市立小・中学校体育館への空調整備について	
(1) 今後どのような基準で学校の選定や順序を決定するか	教育長			4	
(2) 発注方法や整備手法での工夫によって、短期間で整備を進めることや、学校の授業や行事等への影響を抑えることが可能であるが、本市の考え	教育長			4	
(3) 国の明確な基準がない中で、本市としてどのように断熱・遮熱対策を進めるのか	教育長			4	
(4) 避難所機能の強化として、中学校区ごとに1校程度災害時を想定した自立運転機能付きガスヒートポンプエアコンとガスタンクを設置することについての考え	教育長			5	
(5) PFI一括発注において、市内企業が参画できるように配慮する考え	教育長		5		
中村 順一 議員 (自由民主党議員会)	4 教育について 市立小・中学校体育館の空調設備整備を早期に着手する決意		教育長	6	
	質疑 香川 洋二 議員 (自由民主党清新会)		5 GIGAスクール構想について		
(1) 2019年からのGIGAスクール構想における本市の取組の総括			教育長	7	
(2) GIGAスクール構想第2期における本市の取組の方向性			教育長	7	

日程	質問者	質問項目	答弁者	頁
3月10日	質疑 岡田 まなみ 議員 (日本共産党議員団)	3 子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実について (3) 小・中学校給食費の無償化	市長	8
		① 国による2026年度以降できるだけ早期の制度化を待たずに、小・中学校給食費の無償化を実施する考え	教育長	8
		② アレルギーや不登校など給食を食べられない子どもに食材費相当を支給する考え		
	太田 安由美 議員 (無所属)	2 給食アレルギー対応について	教育長	9
		(1) 住んでいる地域によって、給食のアレルギー除去食対応に格差があることに対する本市の見解	教育長	9
		(2) 2つのセンターから保温・保冷ができるトラックなどで除去食を巡回提供する考え	教育長	10
		(3) 学校、保護者、調理場間のやり取りを確実に、また、スムーズに行うため、除去食希望の対応を全校で統一する考え	教育長	10
		(4) 本市において、Aアラームのような給食におけるアレルギー品目通知アプリを導入する考え	教育長	10
		(5) 学校給食アレルギー対応委員会において、当事者の意見を聞く場を設ける考え	教育長	10
	橋本 浩之 議員 (自由民主党清新会)	3 ヤングケアラーについて	教育長	10
		(4) スクールソーシャルワーカーの配置についての認識、現状と配置拡大の考え	教育長	11
		2 歴史資料館について	創造都市推進局長	11
春田 敬司 議員 (公明党議員会)	(1) 歴史資料館が所蔵している歴史的資料や参考資料としてのVHSなど磁気テープ類はどのくらいあるか【参考】	創造都市推進局長	11	
	(2) VHSなど磁気テープ類に保存された情報を次世代へ伝達できるよう、DVDなどへ移行するとともに公開する考え【参考】	教育長	11	
	4 日台学校給食献立交換プロジェクトに参加することを、食文化を学び合うきっかけとし、文化交流を深める考えについて	教育長	12	
3月11日	質疑 藤沢 やよい 議員 (日本共産党議員団)	2 不登校対策の充実について	教育長	12
		(1) 教育支援センターの受入れ人数を増やす考え	教育長	12
		(2) 教育支援センターにおいて低学年から受け入れる考え	教育長	13
		(3) 外部人材の活用を含めた、校内サポートルームへの支援員配置の考え	教育局長	14
		3 米不足、米価高騰について		
		(4) 学校給食での米飯や米粉パンを全面的に実施する考え		

日程	質問者	質問項目	答弁者	頁
3月12日	北谷 梯邦 議員 (自由民主党清新会)	3 教育現場からの改善要望について 産前・産後休暇代替講師や育児休業代替講師の不足を補う考え	教育長	15
	斉藤 修 議員 (自由民主党清新会)	2 本市における公共スペースでの自習環境の拡充について (2) 生涯学習推進の観点から、今後、市有施設における自習スペースの拡充に取り組む考え	教育局長	16
	米田 優 議員 (市民フォーラム21)	2 高松国際ピアノコンクールについて (2) 高松国際ピアノコンクール開催年において、一次予選の鑑賞を教育課程に取り入れる考え	教育長	17
		4 教育について 本市学校教員の休憩時間の状況	教育長	17
	質疑 山西 朋子 議員 (市民フォーラム21)	1 地震発生に備えた取組について (1) 災害時のトイレの衛生対策  ① 小学校で、発災直後の簡易トイレの利用方法の周知に取り組む考え  ③ 小学校における下水道についての学びの状況	教育長	18  18
	笹原 勝彦 議員 (自由民主党清新会)	3 食育の推進について (1) 学校給食における食育を推進する今後の取組  (2) 学校給食における地場産物使用の現状と、今後、更なる使用率の向上を目指す考え	教育長	19  19
	大浦 真由美 議員 (自由民主党清新会)	1 小・中学校の児童生徒の給食費について 高松市立の小・中学校以外を含めた、本市の児童生徒に対する学校給食費の負担軽減を図る考え	市長	20
	松熊 秀樹 議員 (自由民主党清新会)	1 教育について 学校給食調理場の環境改善について空調設備の導入を含めた現在の検討状況	教育長	21
	横井 裕二 議員 (自由民主党清新会)	1 部活動の地域移行の現状と今後の取組について 2 小・中学校において日本語指導が必要な児童生徒への対応について	教育長	22  22
	前川 幸輝 議員 (市民フォーラム21)	1 国分寺町について (1) 特別史跡讃岐国分寺跡史跡公園内の復元された歴史的建造物等を今後、修繕していく考え【参考】	創造都市推進局長	23
3月13日	質疑 山下 誠 議員 (自由民主党清新会)	3 根香寺の国史跡指定への取組について【参考】	市長	24

《3月6日（木）》

代表質問：辻 正彦 議員（自由民主党清新会）

**21 本市にとっての四国遍路の所感について【参考】**

◎ 大西市長（文化財課 担当）

四国遍路につきましては、世界遺産への登録を目指し、平成19年に、四国四県と本市を含む関係市町村で、文化庁に世界遺産暫定一覧表への登載を求める共同提案を行い、20年には、暫定候補の次のランクに位置付けられたところでございます。

一方、文化財としての保護や、学術的価値の証明が課題とされましたことから、本市では、「讃岐遍路道 ねごろじみち 根香寺道」について、国史跡の指定を受けて保護するとともに、本市も加盟する「四国遍路世界遺産登録推進協議会」において、四国遍路の学術的価値の証明や、周知等に取り組んでいるところでございます。

このような中、令和6年4月には、文化庁において、暫定一覧表に追加登載する資産の検討を行うワーキンググループが設置されたところでございます。

また、先月23日に開催された「遍路道ウォーク」では、四国四県の知事や私も含め、1万人を超える参加があり、世界遺産登録への機運も高まっているものと存じます。

私といたしましては、この機会をとらえ、世界遺産登録に向けて前進できるよう、まだ国史跡の指定を受けていない、札所及び遍路道の指定に向けた調査や協議を行い、文化財の保護を進めるとともに、四国遍路の歴史的価値に関する情報発信などにも、より一層、取り組んでまいりたいと存じます。

**25 青少年のSNS等を通じた犯罪被害や加害の防止について**

◎ 小柳教育長（少年育成センター 担当）

本市におきましては、これまで全ての小・中学生とその保護者を対象とした「家族でチャレンジ！『スマートメディア』」事業の実施に加え、未就学児の保護者向けに「安全・安心なネット利用」講座を開催し、保護者が子どもの情報通信機器の利用を見守ることの重要性について啓発するなど、就学前から、SNS等の安全な利用についての意識付けを徹底しているところでございます。

また、香川大学サイバー防犯ボランティアSE TOKUと連携し、小学3年生を対象としたインターネットセキュリティ教室の開催や、各小・中学校におきましては、香川県警察による非行防止教室などを活用し、「闇バイト」などに関する正しい判断力を身に付けることができるよう、指導しているところでございます。

教育委員会といたしましては、引き続き、これらの施策に取り組むことで、児童生徒がSNS等に起因する事件に巻き込まれることのないよう、青少年の非行防止に一層努めてまいりたいと存じます。

## 代表質問：造田 正彦 議員（市民フォーラム21）

### 11 教育について

#### (1) 教職員の働き方改革

##### ① 令和6年度の本市教職員の時間外在校等時間の数値と今後の取組

###### ◎ 小柳教育長（学校教育課 担当）

令和6年度上半期における、一か月の時間外在校等時間が平均4.5時間を超えた教職員の割合は、昨年度同時期より約3ポイント減の約4.3%となっております。

今後とも、専門スタッフの配置やICTの活用による業務の効率化などにより、教職員の時間外在校等時間の縮減に取り組んでまいりたいと存じます。

##### ② 「基本的には学校以外が担うべき業務」について本市の現状と今後の見通し

###### ◎ 小柳教育長（学校教育課 担当）

本市におきましては、学校徴収金の徴収・管理の負担軽減を図るため、学校給食費の公会計化や就学援助費の保護者への直接振込など、学校現場における会計業務の縮減を行ってきたところでございます。

また、登下校の見守り活動や地域ボランティアの活用につきましては、令和5年度から学校運営協議会の仕組みを整えるとともに、6年度からは地域学校協働活動のモデル事業を展開するなど、まずは、学校と地域がパートナーとなれる体制作りが大切であるとの考えから、教育委員会において作成した、地域学校協働活動の好事例などを紹介したリーフレットを、コミュニティセンター等へ配付する予定としております。

教育委員会といたしましては、今後とも、地域と学校の連携・協働を積極的に推進することにより、教職員の働き方改革の実現に努めてまいりたいと存じます。

#### (2) 不登校対策における「学びの多様化学校」の設置

##### ① 不登校児童生徒の人数及びその推移、また、不登校児童生徒に対する現在の支援体制

###### ◎ 小柳教育長（総合教育センター 担当）

本市における令和5年度の不登校児童生徒数は、小学校385人、中学校665人で、元年度と比較して小学生は約2.9倍、中学生は約1.8倍となっております。

また、不登校児童生徒に対する現在の支援体制についてであります。

本市では、現在、約100人の児童生徒が登録しております2か所の教育支援センターの運営や、不登校に関する相談電話の設置、民間施設のガイドラインの策定等、児童生徒や保護者の支援のための施策を進め、その充実に努めているところでございます。

## ② 「学びの多様化学校」の早期設置に向けて検討する考え

### ◎ 小柳教育長（総合教育センター 担当）

「学びの多様化学校」では、特別な教育課程を編成し、個々の実態に即した柔軟な指導・支援が行われており、多様な学びが可能となるものと存じております。

本市におきましては、同様の学びを保障するため、教育支援センターに加え、多くの学校で設置が進んでいる校内サポートルームでの学びの充実、フリースクールなどの民間施設との連携、ICT教材の活用など、個々のニーズに応じた支援に努めているところでございます。

「学びの多様化学校」の設置につきましては、まずは、本市が進める多様な学びの場の更なる充実に努めるとともに、国や県の動向を注視し、先行する実践校の取組について、調査研究してまいりたいと存じます。

## ③ ICTを活用した遠隔授業の導入や家庭訪問による支援の強化についての今後の展望

### ◎ 小柳教育長（総合教育センター 担当）

ICTを活用した支援につきましては、昨年度から一人一台端末の持ち帰り運用を開始しており、オンラインによる授業参加ができる環境の整備や、ICT教材を活用した家庭学習の推進など、児童生徒の希望に応じた学習支援に努めているところでございます。

また、家庭訪問による支援の強化につきましては、各学校の担任やスクールソーシャルワーカーが、子どもの状況に配慮しながら、連絡や訪問を行っておりますほか、教育支援センターのスクールカウンセラーによる、家庭訪問などのアウトリーチ支援を実施できるよう、現在体制を整えているところでございます。

教育委員会といたしましては、更なる不登校対策が必要であると認識しており、各学校と連携し、不登校の未然防止や早期発見・早期対応の体制づくりを推進するとともに、児童生徒の社会的自立を目指して、多様な学びにつながる支援の充実に努めてまいりたいと存じます。

《3月7日（金）》

代表質問：大山 高子 議員（公明党議員会）

**7 市立小・中学校体育館への空調整備について**

**(1) 今後どのような基準で学校の選定や順序を決定するか**

◎ 小柳教育長（学校施設整備室 担当）

市立小・中学校体育館の空調設備の整備に係る学校の選定や順序につきましては、児童生徒数や既存体育館の状況等を勘案し、アドバイザー業務を行う中で、検討してまいりたいと存じます。

**(2) 発注方法や整備手法での工夫によって、短期間で整備を進めることや、学校の授業や行事等への影響を抑えることが可能であるが、本市の考え**

◎ 小柳教育長（学校施設整備室 担当）

発注方式につきましては、昨年実施いたしました調査業務及びサウンディング型市場調査の結果を踏まえ、従来方式とPFI方式との事業期間を比較し、PFI方式の優位性を確認したところでございます。

また、整備手法につきましては、他都市の先進事例を参考にしながら、可能な限り学校運営に支障がないよう、工法を検討してまいりたいと存じます。

**(3) 国の明確な基準がない中で、本市としてどのように断熱・遮熱対策を進めるのか**

◎ 小柳教育長（学校施設整備室 担当）

断熱改修方法につきましては、イニシャルコスト及びランニングコストにおける費用対効果などの比較検討を行い、施設ごとに最適な工法を検討してまいりたいと存じます。

#### **(4) 避難所機能の強化として、中学校区ごとに1校程度、災害時を想定した自立運転機能付きガスヒートポンプエアコンとガスタンクを設置することについての考え**

◎ 小柳教育長（学校施設整備室 担当）

避難所機能の強化といたしましては、各学校の既存インフラに応じて、自立運転機能付きのガスヒートポンプエアコンの採用を検討しております。

ガスタンクにつきましては、設置場所の確保が課題であるほか、設置した場合の平時における学校運営への影響等を考慮し、現在のところ設置は考えておりませんが、有事の際に、プロパンガスボンベを接続できるシステムの導入を検討しているところでございます。

#### **(5) PFI一括発注において、市内企業が参画できるように配慮する考え**

◎ 小柳教育長（学校施設整備室 担当）

対象となる全ての体育館に空調設備を設置する本事業におきましては、市内企業の参画が必要不可欠であると考えており、事業者の募集・選定につきましては、市内企業が参画できるよう、アドバイザリー業務の中で、検討してまいりたいと存じます。

教育委員会といたしましては、災害時の避難所ともなります各学校体育館への空調設備の設置について、児童生徒や避難者等の熱中症対策として、早期に完了するよう、鋭意、取り組んでまいりたいと存じます。

## 代表質問：中村 順一 議員（自由民主党議員会）

### 4 教育について

#### 市立小・中学校体育館の空調設備整備を早期に着手する決意

##### ◎ 小柳教育長（学校施設整備室 担当）

市立小・中学校体育館の空調設備の整備につきましては、御質問にもございますように、体育館の状況に応じた断熱化工事や最適な空調方式の検討を行った上で、「高松市PPP／PFI手法導入優先的検討規程」に基づき、昨年9月に民間事業者を対象としたサウンディング型市場調査を行い、従来方式とPFI方式との事業費総額や、事業の期間を比較し、PFI方式の優位性を確認したところでございます。

今後、更に市内企業の参入も含めた事業者の募集・選定等について、詳細な検討を行うために、PFI事業アドバイザー業務委託の予算議案を今定例会に提出しているところでございます。

また、PFI方式は、対象となる全ての体育館への空調設備の設置完了までの期間を短縮できる一方で、工事着手までに一定程度の期間を要しますことから、洪水災害時に、校区で最初の避難所となる古高松小学校と古高松南小学校につきましては、先行し整備を行うため、従来方式での空調設備設置工事の実施設計に係る予算議案も併せて、今定例会に提出しているところでございます。

教育委員会といたしましては、災害時の避難所ともなります各学校体育館への空調設備の設置について、児童生徒や避難者等の熱中症対策として、早期に完了するよう、鋭意、取り組んでまいりたいと存じます。

## 質疑：香川 洋二 議員（自由民主党清新会）

### 5 GIGAスクール構想について

#### (1) 2019年からのGIGAスクール構想における本市の取組の総括

##### ◎ 小柳教育長（ICT教育推進室 担当）

本市では、国のGIGAスクール構想を受け、一人一台端末及びネットワーク環境を整備し、学習活動の一層の充実を図ってきたところでございます。

現在、市立小・中学校におきましては、児童生徒の端末活用スキルが向上し、授業等において、学習支援ツールを用いて双方向の意見交換を行うなど、主体的で対話的な学びが進んできているほか、令和5年度には「端末持ち帰り本格運用」を開始し、学校の授業と家庭学習との連携により、学びの深まりが見られております。

一方、学校間やクラス間での活用頻度の差や、校内で一斉に端末を使用した場合に、ネットワークに繋がりにくいなどの課題が見られたことから、それらの解決に向け、ICT支援員の配置や、ネットワークアセスメント等の対応により、改善を図ってきたところでございます。

#### (2) GIGAスクール構想第2期における本市の取組の方向性

##### ◎ 小柳教育長（ICT教育推進室 担当）

本市では、GIGAスクール構想第2期に向け、現端末のリース期間が満了となる令和7年度中に、全ての端末を更新することとし、現在、その準備を進めているところでございます。

また、端末更新に併せ、県内統一の教育クラウドサービスが導入されるなど、県と連携して教育デジタルトランスフォーメーションの推進を図っていくこととしております。

教育委員会といたしましては、児童生徒が使いやすく、より機能性の高い端末の整備を行うほか、引き続き各学校の取組を支援するなど、「第2期高松市ICT教育推進計画」に基づき、児童生徒の情報活用能力等の育成を図ってまいりたいと存じます。

《3月10日（月）》

質疑：岡田 まなみ 議員（日本共産党議員団）

**3 子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実について**

**(3) 小・中学校給食費の無償化**

**① 国による2026年度以降できるだけ早期の制度化を待たずに、小・中学校給食費の無償化を実施する考え**

◎ 大西市長（保健体育課 担当）

学校給食費の無償化や負担軽減は、子育て支援のための有効な施策の一つであるものと存じており、本市におきましても、「第3子以降学校給食費無償化事業」や、食材費の高騰部分に対する公費負担に取り組み、保護者の皆様の負担軽減を図っているところでございます。

お尋ねの、本市独自の無償化につきましては、本市の財政状況を踏まえたと、現在行っている軽減策以上の取組を実施することは、困難であると存じます。

私といたしましては、学校給食費は、本来、国の責務として、全国一律の無償化や負担軽減に取り組むべきものであると存じますことから、今後、国における議論を注視してまいりたいと存じます。

**② アレルギーや不登校など給食を食べられない子どもに食材費相当を支給する考え**

◎ 小柳教育長（保健体育課 担当）

他都市におきましては、食物アレルギーや不登校等の理由により、学校給食を長期間停止し、弁当の持参や家庭での喫食を行っている児童生徒の保護者に対し、食材費相当額を支給する事例が見られるところでございます。

本市におきましては、第3子以降の被扶養者に当たる児童生徒の給食費を無償化する中で、学校給食の代替として弁当を持参している児童生徒につきましても、給食費相当額を補助しているところでございます。

教育委員会といたしましては、給食を食べられない児童生徒への支援につきまして、国における無償化の議論も踏まえながら、引き続き、種々の課題を整理し、効果的な方策について研究してまいりたいと存じます。

## 質疑：太田 安由美 議員（無所属）

### 2 給食アレルギー対応について

#### (1) 住んでいる地域によって、給食のアレルギー除去食対応に格差があることに対する本市の見解

◎ 小柳教育長（保健体育課 担当）

本市が運営する34の学校給食調理場につきましては、一日当たりの提供食数に応じた調理員の人員体制や調理場内の広さ、設備内容などに差があるほか、食物アレルギーに関する専門的知識を有する栄養教諭が配置されていない調理場もあるなど、各調理場の状況は大きく異なっております。

このようなことから、事故防止や安全性の確保の観点を考慮し、調理場の能力に応じたアレルギー除去食を提供しているところでございますが、地域によって対応が異なることにつきましては、課題があるものと認識いたしております。

#### (2) 2つのセンターから保温・保冷ができるトラックなどで除去食を巡回提供する考え

◎ 小柳教育長（保健体育課 担当）

御質問にもございましたとおり、現在、朝日新町及び六条町学校給食センターにおきましては、除去食専用の調理室を設置し、食物アレルギーを有する児童生徒の状況に応じた除去食を提供しているところでございます。

お尋ねの、2つの学校給食センターから除去食を巡回提供することにつきましては、専用調理室の調理能力を超過するほか、配送時間や人員体制、市内6つのブロックごとに献立が異なるなどの課題がございますことから、困難であるものと存じます。

#### (3) 学校、保護者、調理場間のやり取りを確実に、またスムーズに行うため、除去食希望の対応を全校で統一する考え

◎ 小柳教育長（保健体育課 担当）

本市の学校給食における食物アレルギーの対応につきましては、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、毎月、食物アレルギーを有する児童生徒の保護者に、献立内容の情報を提供し、食べることのできない献立や除去食などを記入した書類を学校へ提出していただくことで、児童生徒ごとに必要な対応方法を確認しているところでございます。

御質問の、電子メールでの対応につきましては、これまでも、「学校給食アレルギー対応委員会」において、保護者の負担軽減の観点から、検討事項として問題提起がございましたが、対象となる人数によっては、誤送信のおそれや迅速な対応ができないなどの課題も指摘されているところでございます。

教育委員会といたしましては、引き続き、本委員会の意見を伺いながら、より良い方策について検討してまいりたいと存じます。

#### **(4) 本市において、A アラームのような給食におけるアレルギー品目通知アプリを導入する考え**

##### ◎ 小柳教育長（保健体育課 担当）

先ほども申しあげましたとおり、アレルギー対応における保護者との確認方法につきましては、現在、「学校給食アレルギー対応委員会」においても、課題としてとらえており、御紹介のありましたアプリの導入も含め、本委員会において調査・研究してまいりたいと存じます。

#### **(5) 学校給食アレルギー対応委員会において、当事者の意見を聞く場を設ける考え**

##### ◎ 小柳教育長（保健体育課 担当）

「学校給食アレルギー対応委員会」につきましては、医師のほか、学校長や養護教諭、栄養教諭などで構成されておりますが、御指摘のとおり、アレルギー対応につきましては、食物アレルギーを有する児童生徒の保護者など、当事者の御意見を伺い、事業へ反映させることも重要であるものと存じております。

そのため、これまでも、委員長が必要と認めるときは、保護者など関係者の出席を求め、御意見をお伺いしているところでございまして、今後におきましても、適切に対応してまいりたいと存じます。

### **3 ヤングケアラーについて**

#### **(4) スクールソーシャルワーカーの配置についての認識、現状と配置拡大の考え**

##### ◎ 小柳教育長（学校教育課 担当）

本市では、福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカー18名を、全ての市立中学校に配置するとともに、計画的に中学校区内の小学校及び高松第一高等学校にも派遣することで、児童生徒を取り巻く環境の改善を図っているところでございます。

特に今年度からは、不登校の未然防止や早期発見・早期対応の観点から、小学校への派遣を拡充し、低学年児童及びその家庭への支援を行っており、近年、児童生徒が抱える問題が多様化・複雑化している中で、更なる拡充を求める声が寄せられております。

教育委員会といたしましては、多様な教育ニーズに応えるためにも、総合的に判断し、スクールソーシャルワーカーを含む人材の効果的・効率的な配置に努めてまいりたいと存じます。

## 質疑：橋本 浩之 議員（自由民主党清新会）

### 2 歴史資料館について

#### (1) 歴史資料館が所蔵している歴史的資料や参考資料としてのVHSなど磁気テープ類はどのくらいあるか【参考】

##### ◎ 次田創造都市推進局長（文化財課 担当）

民俗文化財や無形文化財の継承におきましては、音声や映像資料が有効でありますことから、本市歴史資料館では、これらの資料についても、継続的に収集しているところでございます。

収集資料のうち、磁気テープ類の数量につきましては、現在、ビデオテープが3件、カセットテープが435件、オープンリールテープが275件でございます。

#### (2) VHSなど磁気テープ類に保存された情報を次世代へ伝達できるよう、DVDなどへ移行するとともに公開する考え【参考】

##### ◎ 次田創造都市推進局長（文化財課 担当）

これら全ての資料をデジタルデータとして保存するには、一定程度の経費や時間が必要となりますことから、その資料的価値や活用の見込みを十分精査した上で、随時、優先度に応じた保存を図るとともに、著作権や個人情報に関する課題にも留意した上で、公開について、検討してまいりたいと存じます。

### 4 日台学校給食献立交換プロジェクトに参加することを、食文化を学びあうきっかけとし、文化交流を深める考えについて

##### ◎ 小柳教育長（保健体育課 担当）

本市におきましては、これまでも、本市で開催されたG7関係閣僚会合に合わせて、参加各国の家庭料理や代表的な食材を使った「サミット給食」を提供したほか、基隆市との交流協定締結を機に、御紹介をいただきました「台湾バナナ」の提供や、「ルーローハン」を献立に取り入れるなど、学校給食を通じて、子どもたちが海外の食文化に触れる機会を設けているところでございます。

御提案の「日台学校給食献立交換プロジェクト」につきましては、子どもたちが、身近な学校給食を通じて異文化に触れるとともに、本市の食文化を国外に発信することにより、シビックプライドの醸成につながる、大変有意義な取組であると存じます。

教育委員会といたしましては、御提案のプロジェクトを含め、学校給食を通じた文化交流の新たな取組について、今後、各学校の栄養教諭を始めとする関係者と情報共有・意見交換を行い、実施の可能性を検討してまいりたいと存じます。

## 質疑：春田 敬司 議員（公明党議員会）

### 2 不登校対策の充実について

#### (1) 教育支援センターの受入れ人数を増やす考え

##### ◎ 小柳教育長（総合教育センター 担当）

本市におきましては、現在、2か所の教育支援センターに指導員を4名ずつ配置し、約100人の児童生徒の支援を行っているところでございます。

不登校の要因・背景は多様化していることから、丁寧なアセスメントと、きめ細やかな指導が必要であり、令和元年に通知された文部科学省の「不登校児童生徒への支援の在り方について」では、「指導員は、通所の児童生徒の実定員10名に対して少なくとも2人程度置くことが望ましい」とされています。

しかし、「新塩屋町虹の部屋」は今年度3学期以降、実定員を大きく上回っており、活動場所の確保が厳しい状態でございます。

教育委員会といたしましては、年々増加しております不登校児童生徒に適切に対応するためにも、指導員の増員など教育支援センターの運営体制拡充について、早期に対策を協議してまいりたいと存じます。

#### (2) 教育支援センターにおいて低学年から受け入れる考え

##### ◎ 小柳教育長（総合教育センター 担当）

本市では、低学年児童につきましては、これまで不登校になる人数が少なかったことや、家庭と学校の連携の中で、長期化せずに再登校できるケースが多かったことから、原則小学4年生からの受入れとしているところでございます。

御質問にもございますとおり、コロナ禍以降、低学年の不登校児童数が大きく増加するだけでなく、家庭以外の関わりがほとんどなく、不登校が長期化している児童も見られますことから、その対応が急務となっているところでございます。

教育委員会といたしましては、現在、低学年については、短期個別指導教室等で対応しているところでございますが、教育支援センターでの受入れも含め、効果的な支援について研究してまいりたいと存じます。

### (3) 外部人材の活用を含めた、校内サポートルームへの支援員配置の考え

#### ◎ 小柳教育長（総合教育センター 担当）

本市におきましては、学校生活における学習面や生活面で教育的支援が必要な児童生徒に対し、日常生活の介助や学習支援等を行う学校生活支援員を、学校の実態に応じて配置することで、教育環境の充実に努めているところでございます。

一方、県の校内サポートルーム研究指定校となっている市立小・中学校においては、加配された教員等を活用し、不登校傾向の児童生徒に対し、個に応じた対応を行うことで、児童生徒の居場所として一定の成果をあげているものと存じます。

また、研究指定校以外におきましても、市立小学校で約3割、市立中学校で約8割の学校が、限られた人員を活用し、校内サポートルームのような場所を確保し、児童生徒一人一人の居場所づくりに努めているところでございます。

教育委員会といたしましては、外部人材の活用を含めた校内サポートルームへの支援員の配置について、国や県の動向を注視するとともに、引き続き、県教育委員会に対し、教員の配置について要望してまいりたいと存じます。

《3月11日（火）》

質疑：藤沢 やよい 議員（日本共産党議員団）

**3 米不足、米価高騰について**

**(4) 学校給食での米飯や米粉パンを全面的に実施する考え**

◎ 一原教育局長（保健体育課 担当）

学校における<sup>べいぱん</sup>米飯給食につきましては、平成21年の文部科学省の通知におきまして、週3回以上の実施を目標として推進するものとされております。

本市におきましては、洋食を含めた多様な献立を提供する中で、平均で週に3.5回程度、香川県産の米を使用した<sup>べいぱん</sup>米飯給食を実施しているところでございます。

また、パン給食におきましても、今年度から新たに、香川県産の小麦と米を使った米粉パンを、一定程度提供しております。

学校給食は、食材費の範囲内で、主食とおかず等のバランスも考慮しながら献立を作成しておりますことから、教育委員会といたしましては、主食として、<sup>べいぱん</sup>米飯や米粉パンを全面的に使用するまでの考えはございませんが、今後におきましても、地場産物活用推進の観点から、地元産の米を積極的に使用した学校給食を実施してまいりたいと存じます。

## 質疑：北谷 悌邦 議員（自由民主党清新会）

### 3 教育現場からの改善要望について

#### 産前・産後休暇代替講師や育児休業代替講師の不足を補う考え

##### ◎ 小柳教育長（学校教育課 担当）

近年、全国的に、育児休業等の取得者数の増加や教職員の採用を取り巻く環境の変化等に伴い、教職員が年度途中で育児休業等を取得する場合において、臨時講師等の確保が困難な状況となっております。

このような状況を背景に、国では、昨年12月に、代替教職員を安定的に確保するために、正規の教職員が産休・育休等の取得者の業務を代替する場合も、国庫負担の対象となるよう、政令の改正を行ったと承知しており、今後、教職員が産休や育休を安心して取得できる、働きやすい職場環境となることが期待されるところであります。

また、県教育委員会におきましても、育児休業を取得する教職員が在籍する一部の学校に対し、非常勤講師を配置するなど、育児休業を取得しやすい職場環境づくりに努めているところでございます。

教育委員会といたしましては、今年度も、教職員不足解消のための支援強化について、全国都市教育長協議会等を通して国に要望しており、県教育委員会に対しても、今後、国の政令改正を踏まえた代替教職員の確実な配置について要望してまいりたいと存じます。

## 質疑：齊藤 修 議員（自由民主党清新会）

### 2 本市における公共スペースでの自習環境の拡充について

#### (2) 生涯学習推進の観点から、今後、市有施設における自習スペースの拡充に取り組む考え

##### ◎ 一原教育局長（生涯学習課 担当）

本市では、学習の場の提供に対する市民ニーズに応えるため、現在、市内10か所において、施設の一部を、学習スペースとして無料開放し、本市ホームページで施設に関する情報を発信しているところでございます。

このうち、本市の生涯学習の拠点施設であります、生涯学習センターでは、自習スペースの情報を、毎週、インスタグラム等で提供し、幅広い世代の方に御利用いただいているところでございます。

一方で、市有施設における自習スペースの拡充に当たりましては、施設本来の目的に沿った利用者との公平性の確保を始め、スペースの有無や提供日時が、施設の利用状況等に左右されるなどの課題もございます。

教育委員会といたしましては、各施設の実情に応じた自習スペース提供の検討を、引き続き、施設所管部署に働き掛けるとともに、利用可能な施設に関する情報を、SNS等も活用しながら、積極的に発信してまいりたいと存じます。

## 質疑：米田 優 議員（市民フォーラム 21）

### 2 高松国際ピアノコンクールについて

#### (2) 高松国際ピアノコンクール開催年において、一次予選の鑑賞を教育課程に取り入れる考え

◎ 小柳教育長（学校教育課 担当）

高松国際ピアノコンクールは、世界の舞台に挑戦する音楽家とのふれあいを通じて国際交流の輪を広げ、地域の音楽文化の発展に貢献することを目指して開催されており、市内のいくつかの学校では、入賞者による学校訪問リサイタルが実施されるなど、音楽への関心や夢を育む機会となっているところでございます。

一方、小・中学校においては、学習指導要領に基づき、児童生徒の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分に考慮して、計画的かつ継続的な教育課程を編成し、教育を行うこととされておりますことから、御質問の音楽教育の一環として、4年に一度となる本コンクールの一次予選の鑑賞を取り入れて、教育課程を編成することは、難しいものであると認識いたしております。

教育委員会といたしましては、今後とも、世界的に話題を提供する音楽イベントである本コンクールを後援するとともに、高松第一高等学校音楽科の生徒を始め、音楽に興味のある児童生徒が鑑賞できるよう、コンクールの開催について広く周知してまいりたいと存じます。

### 4 教育について

#### 本市学校教員の休憩時間の状況

◎ 小柳教育長（学校教育課 担当）

教職員の休憩時間につきましては、法令に基づき適切に付与するものであると認識しております。

このため、市立小・中学校におきましては、給食時間等において直接児童生徒を指導している学級担任等と、それ以外の教職員の休憩時間を別々に設定し、明示するなど、教職員が休憩を取得できるよう努めているところでございます。

また、スクールサポートスタッフや学校生活支援員を効果的に活用したり、地域ボランティアによる昼休みの児童見守り活動等を取り入れている学校もございます。

教育委員会といたしましては、休憩時間について法令等に基づいて対応するよう、引き続き、管理職研修会等において指導するとともに、専門スタッフや地域人材を活用した好事例を紹介することなどにより、教職員が休憩時間を適切に確保できるよう努めてまいりたいと存じます。

《3月12日（水）》

質疑：山西 朋子 議員（市民フォーラム21）

**1 地震発生に備えた取組について**

**(1) 災害時のトイレの衛生対策**

**① 小学校で、発災直後の簡易トイレの利用方法の周知に取り組む考え**

◎ 小柳教育長（保健体育課 担当）

災害時に、断水等により排水が困難となり、トイレが使用できなくなった場合を想定し、児童が、簡易トイレの設置や使用方法を知ることが、重要であると存じます。

本市におきましては、近年、地域と学校が連携・協働して実施する防災訓練が増えてきており、保護者や子ども、地域住民が参加し、簡易トイレや段ボールベッド等の設置訓練を行う事例もございます。

教育委員会といたしましては、今後、校長研修会等の機会を通じて、避難訓練や防災訓練等の際には、簡易トイレの設置・利用方法等について、児童生徒に周知を行うよう働きかけてまいりたいと存じます。

**③ 小学校における下水道についての学びの状況**

◎ 小柳教育長（学校教育課 担当）

市内の小学4年生の社会科では、本市独自の副読本「高松の今とむかし」を活用し、下水道の役割や下水処理場の仕組みについて学ぶほか、教科書には、マンホールトイレの紹介もあり、災害対策についても学んでいるところでございます。

こうした社会科での学びの後に、校外学習として下水処理場を見学している小学校もあり、児童は、下水道や下水処理場が、人々の生活を支える重要な施設・設備であることについて理解を深めております。

教育委員会といたしましては、今後とも、子どもたちが、下水道事業が人々の生活環境の維持と向上に役立っていることを理解できるよう、指導の充実に努めてまいりたいと存じます。

## 質疑：笹原 勝彦 議員（自由民主党清新会）

### 3 食育の推進について

#### (1) 学校給食における食育を推進する今後の取組

##### ◎ 小柳教育長（保健体育課 担当）

市立小・中学校におきましては、これまでも、学校給食を「生きた教材」として、食の重要性や伝統的食文化の普及などの食育指導を行うほか、生産者や流通業者・調理員等への感謝の気持ちの醸成に努めているところでございます。

また、朝日新町学校給食センターを本市全体の食育の拠点と位置付け、各種料理教室や施設見学会を定期的で開催し、子どもたちや保護者の皆様が、料理の知識や楽しさを学ぶとともに、安全・安心でおいしい学校給食を、より身近に感じていただく機会を設けているところでございます。

教育委員会といたしましては、将来、子どもたちが健康で健全な食生活を営むことができるよう、引き続き、学校給食を通じた食育の各種取組を行うとともに、今後は、これらの取組内容について、より多くの方々に周知し、その成果が広く普及されるよう、効果的な情報発信の在り方について検討してまいりたいと存じます。

#### (2) 学校給食における地場産物使用の現状と、今後、更なる使用率の向上を目指す考え

##### ◎ 小柳教育長（保健体育課 担当）

本市の学校給食で使用する食材につきましては、大量かつ、安定的に確保する必要がございますが、そのような中におきましても、昨年9月からは、「県産農水産物学校給食利用拡大事業」に取り組むなど、できる限り地元の食材を調達しているところでございます。

来年度におきましても、この事業を活用する中で、「高松産ごじまん品」を中心とした地場産物を積極的に取り入れてまいりたいと存じます。

また、例年、使用率が低調な秋頃における地場産農産物の確保が課題であると認識しておりますことから、教育委員会といたしましては、生産者や流通業者などの関係者で構成する検討会において、課題の解決に向けた積極的な意見交換を行うなど、地場産物の更なる使用率向上に向け、取り組んでまいりたいと存じます。

## 質疑：大浦 真由美 議員（自由民主党清新会）

### 1 小・中学校の児童生徒の給食費について

#### 高松市立の小・中学校以外を含めた、本市の児童生徒に対する学校給食費の負担軽減を図る考え

##### ◎ 大西市長（保健体育課 担当）

令和7年度における、市立小・中学校の学校給食費につきましては、今年度に引き続き、保護者の負担軽減を図るため、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用した、食材費高騰分の公費負担に係る予算議案を、今定例会に提出しているところでございます。

また、本市の市立以外で給食を実施している、小・中学校のうち、香川大学教育学部附属高松小学校につきましては、市立小学校と同じ献立を採用し、同額の学校給食費を設定していることから、保護者の方々からの御意見等も踏まえ、7年度におきましては、市立と同様に、本市が食材費の高騰分を負担する予定としております。

今後におきましても、社会経済情勢や国の動向を注視し、物価の変動等に迅速に対応しながら、子育て世帯の経済的負担の軽減が図られるよう、鋭意、取り組んでまいりたいと存じます。

## 質疑：松熊 秀樹 議員（自由民主党清新会）

### 1 教育について

#### 学校給食調理場の環境改善について空調設備の導入を含めた現在の検討状況

##### ◎ 小柳教育長（保健体育課 担当）

年々厳しさを増す夏の暑さの中、空調設備のない学校給食調理場におきましては、御指摘のとおり、衛生管理の観点から、調理場内の温度・湿度を適切に保つことが大変重要であるとともに、調理員の健康保持に向け、更なる労働環境の改善が喫緊の課題であるものと存じております。

このようなことから、調理員の熱中症対策につきましては、これまで、スポットクーラーの配備のほか、保冷剤付きベストの配付や経口補水液の支給などの対策を実施してきたところでございますが、新たな空調服の導入などについても検討しているところでございます。

また、調理場における空調設備の導入につきましては、それぞれの調理場の実情を踏まえながら、冷房の効果や維持管理のコストといった課題を整理しているところでございます。

教育委員会といたしましては、職員の意見も取り入れながら、学校給食調理場の環境改善に努めてまいりたいと存じます。

## 質疑：横井 裕二 議員（自由民主党清新会）

### 1 部活動の地域移行の現状と今後の取組について

#### ◎ 小柳教育長（保健体育課、学校教育課 担当）

本市では、部活動の地域移行に向けて、軟式野球、柔道、ストリートダンスや吹奏楽などを対象として、専門的な地域指導者を派遣するモデル事業を実施してきたところでございます。

また、コーディネーター5名を配置し、市立中学校の実情把握等を行った結果、教員や生徒からは、地域移行に対し、前向きな意見がある一方で、地域移行後の指導者や活動場所などについて、様々な意見もいただいたところでございます。

今後におきましては、コーディネーターが取りまとめた聞き取り状況や、地域部活動検討委員会での御意見も参考にしながら、御質問の兼職兼業による教員の活用も含め、各種関係団体と連携して今後の地域部活動の在り方について検討してまいりたいと存じます。

教育委員会といたしましては、生徒や保護者等に対して、地域移行に向けた取組について、本市ホームページ等で情報発信を行うとともに、子どもたちにとって魅力あふれる持続可能な部活動の地域移行となるよう努めてまいりたいと存じます。

### 2 小・中学校において日本語指導が必要な児童生徒への対応について

#### ◎ 小柳教育長（学校教育課 担当）

本市におきましては、現在、学校からの希望に応じて、児童生徒の母語に合わせ、中国語やタガログ語などが話せる指導者を、原則として児童生徒一人につき年間20回、40時間程度派遣し、平仮名や片仮名の読み書き、日常会話などの指導を行い、学校生活への適応や授業の理解につながるよう取り組んでいるところでございます。

しかしながら、本市における日本語指導を必要とする児童生徒数は、令和3年度の約50人から、6年度には約90人へと急増しており、特に来日後間もない児童生徒に対する日本語指導が不足している状況にあるものと存じます。

このようなことから、本年4月より、特に日本語指導を必要とする児童生徒の増加が顕著である、高松第一小・中学校内に、集中的に指導を行う教室を設置するための関係予算議案を、今定例会に提出しているところでございます。

この教室では、短期集中的に初歩的な日本語を学べるよう、利用定員を5人程度、指導期間を3か月から6か月程度とし、指導者が児童生徒一人一人に寄り添いながら指導することとしております。

教育委員会といたしましては、「誰一人取り残さず一人ひとりが輝く教育」の実現に向け、今後も日本語指導が必要な児童生徒に対する支援の充実に努めてまいりたいと存じます。

## 質疑：前川 幸輝 議員（市民フォーラム21）

### 1 国分寺町について

#### (1) 特別史跡讚岐国分寺跡史跡公園内の復元された歴史的建造物等を今後、修繕していく考え

##### 【参考】

#### ◎ 次田創造都市推進局長（文化財課 担当）

屋外に復元されております歴史的建造物等につきましては、整備から30年以上が経過し、一部に老朽化が認められましたことなどから、令和2年に、文化財の専門機関であります奈良文化財研究所の助言を受けるなど、適切な維持管理ができるよう努めてきたところでございます。

また、復元された歴史的建造物等の老朽化への対応については、全国的にも課題となっており、文化庁において、それらの現状把握の調査が開始されたところでございまして、今後、方針等が示されるものと存じます。

このようなことから、本市といたしましては、今後、文化庁の動向も注視しながら、修繕も含めた維持管理の方法について、検討してまいりたいと存じます。

《3月13日（木）》

質疑：山下 誠 議員（自由民主党清新会）

### 3 根香寺の国史跡指定への取組について

◎ 大西市長（文化財課 担当）

本市では、「四国遍路」の世界遺産登録に向け、白峯寺しろみねじから根香寺ねごろじに向かう遍路道を調査し、「讃岐遍路道 根香寺道ねごろじみち」として、平成25年に国史跡の指定を受けたところでございます。

また、本市に所在する五か所の札所のうち、讃岐国分寺は国の特別史跡の範囲に、また、屋島寺は史跡の範囲に、それぞれ含まれておりますことから、根香寺ねごろじを含む、残り3か所の札所と未指定の遍路道につきましても、国史跡指定に向け、香川県とともに、文化財の調査や関係団体等との協議を行っているところでございます。

この中でも、根香寺ねごろじにつきましては、中世の山林寺院の形態を良好にとどめており、文化財的価値が高いことから、国史跡指定に向けて、鋭意、協議を進めているところでございます。

私といたしましては、「四国遍路」の世界遺産登録に向けて前進できるよう、引き続き、札所や遍路道の国史跡指定に向けた、様々な取組を進めてまいりたいと存じます。